

# 福商会報

FUKUSHO OB COMMUNICATION MAGAZINE

発行所/社団法人 福商会 発行責任者/後藤 幹生 福岡市中央区大名1-12-57

TEL : 092-711-9890 FAX : 092-711-9266

Eメール: info@fukushokai.or.jp

<http://www.fukushokai.or.jp>

熱・意気・力

Vol.159  
(2011年 1月発行)

## 2011年春、新博多駅誕生



写真提供:永島光雄さん(55回生)

生まれかわった新博多駅と博多バスターミナル

初代博多駅1889年度



二代目博多駅1909年度



三代目博多駅1963年度



平成23年

# 新年のご挨拶 春風

## アジアで活躍できる 人材の育成を



理事長  
山口 毅

明けましておめでとうございます。新しい年を迎え皆様には、希望に溢れた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨今の日本を取り巻く経済環境を見ますと、2000年代の日本を支えていた輸出がリーマン・ショックで一気に萎んでしまっており、株安や景気悪化に直結してしまっています。日本経済のデフレ状況を一層進行させています。モノが売れにくく、賃金も上がりにくく、景気がなかなか向上しません。しかしながら2009年の秋以降かなりの回復を見せ、日本経済は思った以上に良くなってきました。最大の原因は、中国の経済が非常に順調で、高成長する中国に引張りされるかたちで、日本の輸出や設備投資が伸びました。今後は、デフレ構造の長期化、欧米の経済低迷、アメリカのドル安・円高懸念など、輸出主導で回復してきた日本経済にとって2011年の初頭から正念場を迎えることになりそうです。

これからの世界を牽引する国は、既に日

本を追い越し、世界第二の経済大国に成長した中国をはじめ、インドやアジアの諸国です。

21世紀の厳しい競争社会を生き延びるためには、もともと結びつきが非常に強い中国やインド、アジアなど、世界にしっかりと目を向けて、個人レベルでも企業レベルでも、グローバルな世界で活躍できる人材が、是非育つてもらいたいと願っております。

2010年は福翔高等学校創立110周年の記念すべき年を迎え、関係各位で臨席のもと盛大に式典行事を祝うことが出来まして、本当に感激致しております。

母校は、110年の歴史を刻み、既に3万2千有余名の卒業生を、実業界を中心に優秀な人材を輩出して来まして。

2000年には時代の要請に応え、いち早く福岡で最初となる総合学科校に改編し、生徒の特性にきめ細かく対応し、個性に応じて多様な選択ができる特色のある高校としてスタート致しました。伝統を受け継ぎながら、生徒の進路実現を最優先に取り組んできた結果、国立大学進学者も年々増加し、進学校としての力も培われてきました。是非母校には、進学でも就職でも国語、英語などの語学、数学などの基礎学力の修得に力を入れて頂きたいと考えております。基礎学力、基本が身に付かないと社会はなかなか受け入れてくれません。福岡は、アジアに開かれた地域です。今までの歴史と伝統に満足することなく、ア

ジアの指導的立場になれる国際人の育成も視野に入れ、産業界を中心にいろいろの分野で活躍できる人材を育成して頂くことを是非お願いしたいと思っております。福岡会では、九州大学を始めとする国立大学を目指す優秀な生徒に対し、同窓会独自の「中牟田奨学金」「福岡会奨学金」を設け、その実現のために支援してまいりたいと考えております。

末筆になりますが福岡会への更なるご尽力、ご協力をお願い申し上げますと共に、皆様のますますのご活躍とご健勝を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## 新しいスタートの年として



福翔高等学校  
校長 井上 直輝

あけましておめでとうございます。

福岡会の皆様には、希望に満ちた新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は本校教育の充実発展のため、母校並びに後輩に対し、一方ならぬご支援を賜り、誠にありがとうございました。心から御礼申し上げます。

さて、本校は明治33年（西暦1900年）福岡市商業学校として、少林寺内に仮校舎を設け産声を上げて以来、昨年110周年という記念すべき年を迎えることができました。

昨年は、5月の記念音楽祭、6月の記念文化祭、9月の記念体育祭、10月の招待試合と様々な記念行事を行い、10月30日には、福岡市長をはじめ、多くのご来賓の皆様のご出席を賜り、盛大、厳粛に記念式典や記念講演会、祝賀会を挙行することができました。また、記念事業として正面玄関前の整備、体育館内部の改装工事を行い、歴史資料室の整備やグラウンドの改良工事も予定しております。

このように本校が輝かしい歴史と伝統を継承しながら、着実な歩みが続けることができましたのも、ひとえに常に温かく本校を見守り、支援していただいた福岡会の皆様方のご支援の賜であり、心から感謝申し上げます。

今年、本校が商業高校から総合学科高校へと改編して12年目になります。「平成の福翔改革セカンドステージ」の取り組みは6年目になりますが、110周年の節目の年を新しいスタートの年として、さらなる「特色ある総合学科」「信頼される学校」を目指して取り組んでまいります。

現在、次のステップに向けて、新しい学習指導要領による教育課程の編成や推薦入学制度の在り方等について、検討を進めているところです。

福岡会の皆様には、今後とも母校並びに後輩に対し、物心両面からの温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、福岡会の更なるご発展、並びに会員皆様ますますのご活躍とご健勝を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 理事会開催

10月27日福商会館で定例の理事会を開催しました。冒頭に後藤専務から青木進新事務長(66回生)の紹介があり、当人から自己紹介がありました。

山口理事長から母校創立110周年記念事業の記念誌発行の状況説明があり。後藤専務より収支報告、事務長からその他議題の説明と母校の就職担当者(荒巻教諭)からの就職希望者の内定状況を聴取し、理事会で報告しました。

### 【議案】 なし

### 【議題】

- ①収支報告(4月~9月)
  - ②一般社団法人(新公益法人)認可申請
  - ③年会費納入報告
  - ④110周年記念誌タイトル案について
  - ⑤母校来年度就職状況について
  - ⑥その他
- 平田哲子(64回)理事より「さくら会」創立5周年記念式典実施と記念誌発行の報告。
- 秋丸副理事長より母校野球部の県大会出場にかかる、バスのチャーター費用に対して理事、その他野球部OBからの寄付金の会計報告と感謝の言葉がありました。

## 福翔高等学校 創立110周年記念式典・講演会及び 祝賀会が盛大に開催



昨年10月30日(土)10時より、福翔高校講堂で歴代校長先生をはじめ多くのご来賓をお迎えし、生徒950名と共に、創立110周年を祝う記念式典が盛大に行われました。式典では、物故者への黙とうのあと、実行委員長の井上直輝校長から、「時代の要請に応じた学校の変遷の中、本校には校訓である「熱・意気・力」の福商魂が脈々と受け継がれ今日に至っています。生徒の皆さんは110年という長い

福翔高校の歴史と伝統を受け継ぎ、これからの新しい歴史を創る、まさにその先頭にいます。福翔生としての誇りをもち、大きな志をもって、世界に羽ばたく人間に成長してほしい」

と挨拶がありました。続いて主催者側から、貝田由紀教育委員長、押領司敏郎父母教師会会長、後藤幹生福商会専務理事がご挨拶をされ、つぎに来賓者側から四宮祐司南区長、光安力福岡市議会議長、本多常忠市立高校校長会長(福岡女子高校長)がご祝辞を述べられました。そして来賓紹介、祝電披露のあと、3年生の前岡美紀さんが生徒代表として謝辞を述べ、来賓の皆様から盛大な拍手をいただきました。最後に吹奏楽部の伴奏で校歌斉唱を行い、式典を終りました。



## CONTENTS

新年挨拶	2	111の笑顔	15
理事会報告	3	同舟往來	16
学園だより	4	トピックス	17
部活動紹介	5	喜寿を迎えて	18
同窓会だより	8	さくら会だより	19
二一夭作之五って何や	13	会費納入状況	20
青春プレイバック	14	企業紹介	22

引き続き行われた創立110周年記念講演会では、元アヒス八福岡監督の中村重和氏が「自分の道」という演題で講演。サッカーに賭けた人生を振り返りながら、「自分を知ることを大切さと小さな夢(目標)の積み重ねが大きな夢につながる」と生徒に熱く語り掛けられました。

午後からは会場をホテルニューオータニ博多に移し、創立110周年記念祝賀会が行われ、福商OG(80回生)の橋詰京美さんの司会のもと、福岡市議会第2委員会委員長の前岡敦子氏をはじめ多くのご来賓の皆様からご祝辞等をいただき、盛会裏に終わることができました。

教頭

谷川 秀水

活動報告

スチューデント・  
カンパニー・  
プログラム  
Student Company Program

「15COLORS」  
の活動

本校では、昨年度より国際的経済教育団体ジュニア・アチーブメントが提供しているプログラムの一つ「スチューデント・カンパニー・プログラム」を実施しています。昨年もこの福商会報でもご報告させていただきましたが、今年（22年）の活動についても、報告させていただきます。

スチューデント・カンパニー・プログラムでは、まず参加を希望する生徒を募って会社を設立します。今年は7月に開始しましたが、15名の生徒（女子14名、男子1名）が参加を希望しました。つぎに、会社の設立です。会社設立にあたり「ふくおかフィナンシャル・グループ」より2名の若手社員の方に、社外取締役（今後の活動のアドバイザー）として参加していただけるようになりまして。花谷禎昭さんと山田久美子さんのお二人で、活動日に交互に来ていただいています。それとジュニア・アチーブメント九州支部の濱井さんがお越しになります。

7月7日第一回の活動日、濱井さんからのオリエンテーションの後、いよいよ社長と取締役の決定です。今年も社長への立候補が1名あり、2年2組の新任様子さんに決定しました。その後、生産部長、販売部長、経理部長、人事部長を決定して、それ以外の生徒は、4つの部のいずれかに所属します。これで会社の人的配置が終わりしました。

第二回目の活動日には、会社の名前や経営理念の決定をしました。色々なアイディアが出されましたが、最終的には「15COLORS」に決定した。「社員15人がそれぞれ個性を出し合って輝くように」という願いが込められた社名です。次は、この会社の経営方針の決定です。「私たちは感謝の気持ちを忘れずに、互いに協力しあい、お客様が笑顔になれるような製品作りを目指します」と「明るく元気に！」をモットーに、社員一人一人がそれぞれのカラー（個性）を出し、日々成長し続けます」という2項目を決定しました。また、今後生産、販売していく商品については、いくつかの試作品を製作した後、最終的には「エコバッグとシユシユ（髪をまとめるもの）」を販売するという事に決定しました。ただし、材料は購入したものを使用するのではなく、生徒や先生方の家庭に眠っている不要になった衣類や布地を提供してもらって、それからバッグやシユシユを生産するという方針でスタートしました。

これで、本格的な活動に入れるようになりましたが、まだ一つ課題が残っています。

それは、株式の販売です。当たり前のことですが、1株100円の株を100株販売しないと会社の運営資金がまったくありません。そこで、社員一人一人が、友人や家族や先生方などに、この活動の趣旨や会社の説明をしたうえで株式の販売をおこない、ようやく一百万円の資金調達が達成できました。

第一回目の販売は、昨年より商品決定等に時間がかかり、10月16日（土）となりました。場所は、大橋駅西口広場での「楽しかおほし」に出店させていただきました。発売とまではいきませんでした。9,700円の売り上げがありました。その後、そこで知り合った方たちの口添えもあり、護国神社での「食育フェスティバル」や大橋の「きょうわ祭り」に参加することができました。



きょうわ祭り

11月10日に、中間決算報告会を開き、それまでの活動の報告や収支決算の報告をおこないました。ジュニア・アチーブメント九州支部の濱井さんの他、ふくおかフィナンシャル・グループから5名もの方々に参加していただきました。「商品の購買者はどのような人をイメージしたか」「株主へはどれくらいの配当を予定しているのか」「事業計画はどうなっているのか」「損益計算書の根拠は？」など、予測していなかった厳しい質問もあり、取締役たちはたじろじとなって返答に窮することもしばしばありました。しかし、これまでの活動を見直して、今後の活動の改善点や方向性を考えるのには良い経験をしたと思います。

中間決算報告会后、社員たちは研修や話し合いを重ねて、現在は経営の立て直しを図り、徐々に生産活動や会議に活気が生まれ始めているところです。これから1月上旬まで、あと3〜5回の販売を経て、1月25日に校内での株主総会を迎えます。あとわずかな期間ですが、これからが一番大変な時期を迎えることとなります。さて、株主さんたちに100円の配当金を加えて、200円ずつお返しできるのか、最大の課題が残されています。

ジュニア・アチーブメント同好会顧問  
江口 武俊

現役福翔高校生の部活ライフ

VOL. 09 今号は 吹奏楽部

一人の高校生として  
普段の活動を  
もう一度見直すこと

吹奏楽部は、昭和37年に、それまでの器楽部とコーラス部との再編により誕生し、平成22年度で48年の歴史を有します。  
総合学科への改編に伴い、平成14年度には校舎が増築され、音楽室も新しくなりました。新校舎には多目的ホールもあり、練習で使用することもできます。公立高校の

吹奏楽部の中では、かなり恵まれた環境にあると思われます。かつての音楽室があった場所(階段からセミナーハウス側の部分)は、昨秋に取り壊され、玄関前広場として整備されました。卒業生の皆様の想い出がたくさん詰まっていることを考えますと、この取り壊しは、寂しい思いもあります。  
現在は1、2年生24名で活動しています。定期演奏会は42回を数え、昨年は学校創立110周年の記念音楽祭として5月に開催しました。また、博多どんたくを始め、さまざまなイベントで演奏する機会を与えていただき、活動の幅が広がっています。

創部50周年を目前にして、大会での成績の更なる飛躍も求められるところですが、それよりも、普段の活動をもう一度見直すことをしなければなりません。今なすべきことは、技術の向上やコンクールで好成绩を取めたりすることよりも、一人の高校生として、「当たり前」のことを当たり前に行きながら「考える」と考えています。音楽をする集団である以前に、高校生であることを自覚しなければなりません。このようなことをクリアすることで、部としての質も高まり、演奏にもよい影響を与えると確信しております。

現在の活動ができるのは、福商会を始め、卒業生や関係者の方々のおかげと感謝しております。今後とも、指導を賜りますようお願い申し上げます。

吹奏楽部顧問

富永 尚嗣

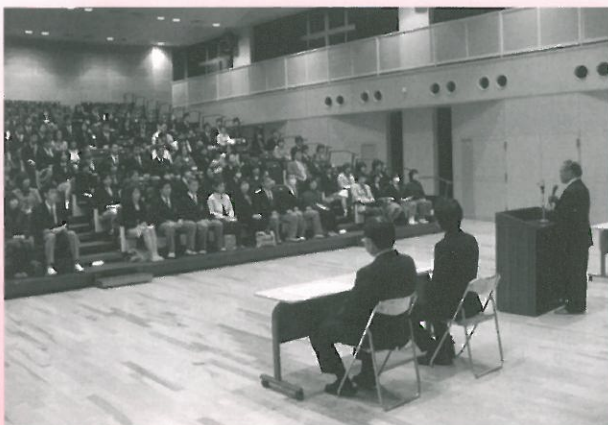


110周年記念音楽祭(南市民センター)

母校奨学生へ  
奨学金交付

11月12日、福翔高校多目的ホールで、平成22年度の奨学金説明会並びに交付式が、保護者同席のもと行われました。福商会からは安河内副理事長・後藤専務理事が出席されました。

従来の『福商会奨学金』に加え、昨年度より『中牟田奨学金』が創設されています。平成22年度は2つの奨学金制度から、65名の生徒に奨学金を支給しました。井上直輝校長から奨学金制度についての説明があり、後藤専務理事からは、奨学生に向けて、熱い激励のメッセージが贈られました。



奨学金交付式

## 福翔高等学校 体育部活動成績《平成22年8月～平成22年11月県大会以上》

### 剣道部

◆新人戦中部ブロック大会 11月13日(土)～14日(日) 日本経済大学  
 〈男子団体〉○福翔 4-0 太宰府 / パート決勝 福翔 1-1 東福岡高校  
 〈女子団体〉1回戦 ○福翔 2-0 修猷館  
 ベスト8 ○福翔 3-1 福岡工城東  
 準々決勝 ○福翔 3-1 宗像  
 準決勝 ○福翔 2-1  
 決勝 ○福翔 3-2 ※初優勝 県大会出場  
 〈女子個人〉城 千晶 ※第3位で県大会出場

### ソフトテニス部

◆福岡県高校女子ソフトテニス新人大会  
 10月31日(日) 久留米市総合スポーツセンター  
 〈個人戦〉西村・牧川組 3回戦敗退 ※福岡県ベスト8  
 山田・尾籬組 2回戦敗退  
 矢壁・光武組 1回戦敗退

### ソフトボール部

◆高体連ソフトボール新人大会福岡県大会  
 11月3日(水) 雁の巣レクリエーションセンター  
 1回戦 ○福翔 4-3 九産大九州  
 2回戦 ×福翔 0-5 三瀬 ※福岡県ベスト8

### 体操部

◆福岡県高等学校体操競技県新人大会 アクション福岡  
 11月6日(土)  
 岩尾 勇樹 ゆか 20位  
 林 宏直 ゆか 19位・あん馬 19位・つり輪 19位  
 能勢 花菜美 跳馬 13位・段違い平行棒 13位  
 中嶋 美和 跳馬 10位・段違い平行棒 11位  
 金子 文香 跳馬 11位・段違い平行棒 11位  
 武石 美佳 跳馬 12位・段違い平行棒 10位

### 11月7日(日)

林 宏直 跳馬 19位・平行棒 19位・鉄棒 19位  
 能勢 花菜美 平均台 11位・ゆか 11位・個人総合順位 11位  
 中嶋 美和 平均台 10位・ゆか 12位・個人総合順位 10位  
 金子 文香 平均台 13位・ゆか 10位・個人総合順位 13位  
 武石 美佳 平均台 12位・ゆか 13位・個人総合順位 12位

### 卓球部

◆福岡県高等学校卓球新人大会  
 兼 第44回全九州高等学校卓球新人選手権大会  
 11月6日(土) 飯塚市第一体育館  
 〈女子個人〉白水・瓜生 1回戦敗退  
 〈女子学校対抗〉1回戦 ×福翔 0-3 北九州市立

### 男子バスケットボール部

◆選抜優勝大会福岡県大会 9月11日(土) アクション福岡  
 準々決勝 ○福翔 102-66 祐誠  
 準決勝 ×福翔 66-99 福岡第一 ※第3位  
 ◆中部地区バスケットボール新人大会  
 10月30日(土) 講倫館高校  
 順位決定リーグ ○福翔 83-56 東福岡 ×福翔 69-71 宗像

### 11月3日(水) 福翔高校

順位決定リーグ ×福翔 56-85 福岡第一 ×福翔 78-112 福大大濠

### 11月6日(土) 九州高校

順位決定リーグ ○福翔 86-62 九州 ○福翔 110-82 講倫館

### 11月7日(日) 宗像高校

順位決定リーグ ×福翔 61-76 玄界 ○福翔 89-79 九州産業  
 ※第5位

### 女子バレーボール部

#### ◆新人戦中部地区予選

#### 11月13日(土) 太宰府高校

○福翔 2-0 講倫館 ○福翔 2-0 香椎 ※ベスト8進出 県大会出場

#### 11月14日(日) 春日高校

○福翔 2-0 福大若葉 ○福翔 2-0 福岡女学院

### 野球部

#### ◆秋季福岡県市長杯 8月17日(火) 北九州市民球場

×福翔 2-5 修猷館

#### ◆秋季福岡県市長杯争奪高校野球大会 9月4日(土) 久留米球場

×福翔 1-6 浮羽工業高校

#### ◆福岡県1年生野球大会 10月23日(土) 九州高校古賀グラウンド

×福翔 2-5 九州高校

### 陸上競技部

#### ◆全国高等学校総合体育大会陸上競技大会

#### 8月1日(日) 沖縄県立総合運動公園陸上競技場

谷口 真一 走高跳 (記録なし)

自己ベストと同様同じ1m95から競技開始。1、2回目は十分な踏切ができず失敗。3回目スピードに乗った助走からしっかり踏み切ることが惜しくも失敗、競技終了。

#### ◆国体選考会 博多の森陸上競技場

8月8日(日) 樋口 勇樹 100m予選 11秒95

高野 颯 100m予選 11秒72

内田 真 100m予選 11秒87

山田 有彩 100m予選 13秒76

平山 葉月 100m予選 13秒58

白石 博子 100m予選 13秒79

8月9日(月) 谷口 真一 走高跳 第5位 1m85

谷 和泉 走高跳 第5位 1m50

川口 歩美 走高跳 第4位 1m55

大楠 翔一 砲丸投 第4位 12m04

#### ◆県高校新人陸上対抗選手権大会 博多の森陸上競技場

9月18日(土) 谷口 真一 走高跳 第2位 1m91 ※九州大会出場

谷 和泉 走高跳 第5位 1m56 ※自己ベスト

9月19日(日) 大楠 翔一 円盤投予選 25m65

#### ◆九州高校新人陸上選手権大会

#### 10月10日(日) 熊本県総合運動公園陸上競技場

谷口 真一 走高跳 第7位 1m91

この度は「中牟田奨学生」として選んでいただき、ありがとうございます。

先日の交付式の後藤専務理事のお話の中で奨学金は福商会館の賃貸収入と先輩方からの会費によるものだと言っていて大変驚きました。今、日本の経済が苦しい中にあれほどの多くのお金を先輩たちに奨学金としてお与え下さることから、先輩方の後輩を思う気持ちは計り知れないのだと改めて実感しました。同時に先輩方が卒業しても母校の福翔高校のことをいつまでも大切にされていることがわかりました。

奨学生に選ばれたからには、今まで以上に勉学に励み、頂いた奨学金は勉強のために有効に活用させていただきます。また福翔生の模範となるように、これからもあらゆる面で努力したいと思っています。

私は、現在3年生で「国公立大学理系クラス」に所属しています。福商会の皆様の多大なるご支援のおかげで毎週、駿台予備校のサテライトを受講し、学習に励んでいます。卒業後は大学の「応用化学科」に進

3年8組 梶 恵利子

奨学生の皆さんからお礼の手紙が届きました。



水泳部

◆福岡県高等学校選手権新人水泳競技大会  
9月25日(土) 福岡市立西市民総合プール

(男子)  
[決勝]

200m自由形	松村 脩平	1分54秒60	第2位
50m平泳ぎ	小柳 尚輝	32秒07	第9位
50mバタフライ	熊本 大輝	27秒48	第5位
200mメドレーリレー	(松村・小柳・熊本・上野)	1分53秒53	第5位

9月26日(日) 福岡市立西市民総合プール

[タイム決勝]

400m自由形	藤重 輝	5分48秒84	第31位
	岡崎 克志	5分03秒89	第20位
	松村 脩平	4分00秒98	第1位

[決勝]

200m個人メドレー	熊本 大輝	2分10秒97	第6位
200mフリーリレー	(松村・上野・熊本・小柳)	1分44秒29	第7位

※予選の標準突破及び決勝進出者が九州大会(末弘杯)出場

◆福岡県高等学校選手権新人水泳競技大会  
9月25日(土) 福岡市立西市民総合プール

(女子)  
[タイム決勝]

400m個人メドレー	濱浦 実結	4分51秒33	第1位
------------	-------	---------	-----

[決勝]

200m自由形	富安 楓	2分11秒16	第5位
200mバタフライ	宮園 悠可	2分28秒51	第9位
200m平泳ぎ	鬼崎 真律加	2分34秒30	第3位
50m自由形	児玉 彩夏	28秒21	第5位
50mバタフライ	大塚 麻由	29秒18	第3位
200mメドレーリレー	(濱浦・鬼崎・大塚・富安)	2分01秒43	第3位

9月26日(日) 福岡県立総合プール

[タイム決勝]

400m自由形	宮園 悠可	5分02秒94	第5位
	濱浦 実結	4分22秒25	第1位

大会新人賞

[決勝]

100m自由形	富安 楓	59秒81	第6位
100m平泳ぎ	鬼崎 真律加	1分12秒91	第3位
100mバタフライ	大塚 麻由	1分01秒49	第5位
200mフリーリレー	(濱浦・児玉・大塚・富安)	1分50秒78	第4位

※予選の標準突破及び決勝進出者が九州大会(末弘杯)出場

◆(末弘杯)全九州高等学校選手権新人水泳競技大会  
大分県佐伯市民総合プール

10月16日(土)  
<男子> [予選]

200m自由形	松村 脩平	1分57秒62	第8位
---------	-------	---------	-----

10月17日(日)  
[予選]

200m個人リレー	熊本 大輝	2分12秒	第8位
-----------	-------	-------	-----

[タイム決勝]

400m自由形	松村 脩平	4分00秒19	第4位
---------	-------	---------	-----

◆(末弘杯)全九州高等学校選手権新人水泳競技大会  
大分県佐伯市民総合プール

10月16日(土)  
<女子>  
[予選]

200m自由形	富安 楓	2分09秒02	第8位
200m平泳ぎ	鬼崎 真律加	2分38秒18	第3位
50mバタフライ	大塚 麻由	29秒99	第6位
200mメドレーリレー	(濱浦・鬼崎・大塚・児玉)	2分05秒51	第6位
200mフリーリレー	(濱浦・鬼崎・児玉・富安)	1分53秒37	第5位

[タイム決勝]

400m個人メドレー	濱浦 実結	4分57秒04	第4位
------------	-------	---------	-----

[決勝]

200m平泳ぎ	鬼崎 真律加	2分36秒41	第3位
50mバタフライ	大塚 麻由	29秒87	第5位
200mメドレーリレー	(濱浦・鬼崎・大塚・富安)	2分01秒94	第2位

10月17日(日)  
[予選]

100mバタフライ	大塚 麻由	1分03秒66	第2位
100m平泳ぎ	鬼崎 真律可	1分14秒59	第6位

[タイム決勝]

400m自由形	宮園 悠可	4分57秒84	第32位
	濱浦 実結	4分24秒47	第2位

[決勝]

100m平泳ぎ	鬼崎 真律可	1分15秒14	第7位
100mバタフライ	大塚 麻由	1分03秒81	第5位
200mフリーリレー	(濱浦・大塚・児玉・富安)	1分51秒50	第4位

女子総合成績 53点 第3位 入賞

福翔高等学校 文化部活動成績《平成22年4月～平成22年7月県大会以上》

演劇部

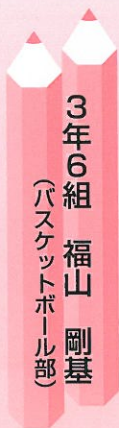
◆福岡地区高校演劇大会 10月24日(日) 福岡市立少年科学文化会館  
創作脚本賞受賞 窪田 みゆき・瓦林 美紀・奇兼 美晴  
樋口 裕大・安井 沙和子

美術部

◆福岡県高等学校総合文化祭 美術工芸展 10月31日(日) 石橋美術館  
特選 久澄 萌  
特選 藤 沙央璃

書道部

◆第25回福岡県高等学校総合文化祭 書道部門福岡県揮毫大会  
11月13日(土) 久留米総合スポーツセンター  
全国大会推薦 池田 茉奈美  
九州大会推薦 中尾 詩織  
特選 井上 美佐子・堀田 里穂  
秀作 池田 真由子・宿里 優希・靄田 佑衣



学し、現在学習している科学がどのように役立っているのかを学び、日常生活で使われている洗剤や化粧品などの化学製品についての研究をしたいと思っています。このように私は新しい素材から何が生産されるのか、素材の組み合わせによって、どのようなものができるのかということに大変興味を持っており、将来は高校や大学で学んだことを活かせるような職業に就きたいと思っています。

大学受験に備え、第一志望の大学に合格できるよう、これからも日々勉学に励み、友達と共に励まし合って残りの高校生活を有意義なものにしていきます。

この度は、奨学生に選んでいただき、ありがとうございます。

3年間奨学生に選ばれたことに誇りを持ち、福翔高校の伝統を受け継いでいきたいと思っています。

22年度の高校バスケットの九州大会予選では県ベスト8、インターハイ予選では県ベスト16、ウインターカップ予選では県3位でした。現在、九州共立大学入学に向けて面接の練習に励んでいます。

3年間ありがとうございました。

獅子見会同窓会  
(44・45回生)



10月15日(金) 福新楼で恒例の同窓会を開催しました。今年(22年)は昨年より2名減の19名と恩師大山先生ならびに福商会から後藤専務理事を迎え総勢21名の参加でした。蔵本君の司会でこの1年間に天寿を全うされた山内貞美、渡邊節男、半田勲の3君に黙祷を捧げました。続いて来賓の後藤専務理事から福商会の近況報告がありました。大山先生の音頭で開宴となり、学徒動員時代の話に花が咲くも、加齢は如何ともし難く酒量はなかなか進みません。病氣自慢も話の種であった。最後に校歌や応援歌を合唱し「博多祝い唄」と「博多手一本」で締め、来年の再会を誓って閉会としました。

久我 輝和(44回生)

50回生同窓会

50回同窓会は、毎年10月に開催している。今年(22年)は、二日市、天拝の郷に集まった。年々、参加者が減少する中で元気な姿に出会えることは有難く、とくに久しぶりの参加者の話を聞く度に、活力を頂く。「子供叱るな来た道じゃ」「年寄り笑うな行く道じゃ」と言われるが、喜寿を過ぎて若者から笑われぬように努めたい。ただ一人ご出席いただいた蔵本先生から「くれぐれも体に気を付けるように」と加齢の心得のあいさつがあり、福商会から後藤専務・前事務長の川瀧さんのご挨拶があった。最後に校歌を高らかに合唱して散会した。

山地 政美



福商51回生同窓会



私達51回生は平成22年11月17日午後5時より福岡市中央区薬院にありますKKRホテル博多の「明木」で行いました。お元気な蔵本先生を囲んで31名の集まりでした。池田君の司会で始まった会は福商会や母校の状況説明があり、恒例になった川嶋君の世情を題した「博多にわか」に爆笑したり、落ちを考えた。今年も8名の物故者(昨年は6名)に黙とうし宴会に入りました。美味しい料理や、お酒を酌み交わしながら青春時代を謳歌した福商高校にタイムスリップした3時間でした。最後に梅津君の音頭で校歌、応援歌を合唱し、元気で会えることを約束し散会しました。今年も7歳。喜寿を迎えます。アンケートでは泊同窓

会を希望される方が多数おられましたので是非企画したいと考えています。51回生の皆さん是非参加して下さい。

磯山 嘉郎

恩師広瀬先生を囲む  
57回生3年5組  
米寿・古希を祝う同窓会



広瀬先生は米寿、私達は古希を迎え、お祝いを兼ねた大同窓会、水郷日田で開催しました。秋真っ盛りの10月12、13日、25名の参加を得て1泊2日。三島文城幹事長をはじめ7人の幹事役のお世話で遠来組の東京、埼玉、横浜、宮崎、大分より多くの元気な同窓生が参加。恩師広瀬先生も、宴会では長寿の秘訣の健康体操を披露。また私共に負けない早さで、天領日田城下町を散策と誠に楽しい有意義な一時でした。恩師広瀬先生には、100歳を目指し長生きし



て頂く事、私達も精一杯先生についていくこと。そしてこのような楽しい会を毎年開催することを約し散会しました。

山田 康夫

### 福商会太宰府支部 定例総会



去る10月23日(土)昼に太宰府の「寿し米」で会員21名と来賓4名の25名が出席し、総会を開催しました。太宰府支部は、秋の総会は観月会、春は観桜会として会員相互の親睦を主として開催しています。野田支部長(46回生)の挨拶の後、後藤専務理事(55回生)による母校の近況報告、特に野球部をはじめ運動各部がだいぶ強くなってきたとのうれしい話。10月1日より新事務局長になった青木進氏(66回生)の自己紹介。続いて平田さくら会々長(64回生)による

さくら会々長5周年の話がありました。最長老の田代成美先輩(35回生)の乾杯で懇親会が始まりました。宴たけなわの中、野田支部長の弟さんが、博多にわか振興会の副会長をしておられることで、特別出演をお願いし、3名の方の博多にわかで大いに盛り上がりました。会員相互の健康を祈念し観桜会での再会を約して終了しました。

太宰府支部会員の減少が続いていましたが、今回新会員3名の追加で総勢41名となりました。さらに会員を増やしたいと思っていますので、太宰府市在住の方だけでなく筑紫野市、大野城市、春日市にお住まいの方も熱烈歓迎しますので、事務局までご連絡お願いします。

太宰府支部事務局

大西 正則(62回生)

### 22年度福商会 京阪神支部同窓会

11月13日(土)大阪市中央区のホテルザ・ルーテルで支部同窓会を開催、総勢38名が集まりました。杉田支部長(62回生)の挨拶で始まり、後藤専務理事、青木事務局長より本部の活動状況を、谷本教頭先生から、母校の教育方針、活躍振りを詳しくお聞きすることができ、一体感をより強く感じるところです。

会務報告後、お待ちかねの懇親会では、1年振りといつこもあり会場は、すぐに和気あいあいとした雰囲気包まれました。ホテル自慢の料理と、美味しいお酒で



話が弾む中、徳安氏(46回生)による朗々たる詩吟の披露とバナナの叩き売りの実演があり、一同拍手喝采。大いに盛り上がったところで高田氏(65回生応援団長)登壇。応援歌の数々と校歌を思いきり大きな声で大合唱すると「熱・意気・力」のパワーで会最高潮に達しました。

年に一度、京阪神在住の卒業生がこうして心おきなく笑顔で交流できるこの機会が、とても貴重に感じられます。都合で出席できなかった支部の皆様には、是非当日の様子をお届け致したく、資料と写真を送付させていただきます。

次回(11月12日)またお会いできますよう多数のご参加を心よりお待ちしております。ます。

京阪神支部事務局

山口 利彦(62回生)

### 福商67回生 還暦同窓会開催

平成22年9月19日(日)まずは天神誓固神社に幹事のみ十数名が集合し、67回生全員の健康を祈願、会場のソリア西鉄ホテルへ向かいました。会場には120人余の同窓生が集合し熱気むんむんです。人生誰一人同じ道を歩んだ者はいませんが、それぞれが還暦を迎えてこの会場にいます。顔を合せ、手を握り合う度に何かがじんときみ上げて来ます。

還暦は人生の折り返し点とも言います。これからはそれぞれの道が本場に充実したものとなるように、福商高校を同じ年に入学し、そして同じ年に卒業した縁があった者同士、それぞれが気にかけてあって進む事を誓い、確かめながら宴が進んで行きます。



た。学生時代に戻って告白タイムでは、ホールの照明も少し暗くしたのがよかったのでは。中にはステージに上がって告白する者まで。

恩師の林先生、藤井先生のお元氣な姿を拜見出来たのも私達一同にますますのパワーをいただいたようです。こちらもお礼を込めて「フレイフレイ林、フレイフレイ藤井」と、ご健康を祈願させて頂きました。ラストはやはり全員で校歌斉唱です。60歳になってもまだまだ元氣です。67回生の結束と愛を感じながら再会を約束し、無事お開きとなりました。

寺崎 裕幸

## 壮年バスケットボール大会

敬老の日の平成22年9月20日に福岡高校で開催された壮年バスケットボール大会に参加しました。この大会は35歳以上のバスケットボール愛好者で競技する大会で、参加校は修猷館、福高、筑紫丘、香椎、西南学院、大濠、東福岡に福岡の8校。バスケットボール部OBが年に1度参集する大会で、昭和30年後半から続いている歴史と伝統を誇る大会。試合は8分クォーター制で50歳、60歳以上の出場選手に与えられるプレミアムポイントが勝敗の力ぎを握る独特の試合形式になっています。

ゲームのスタートは年齢順で青木進(66回生)・長野豊(68回生)・永久隆一(72回生)・広田敏郎(77回生)・池田純一(78回生)の



5人がスタメン。初戦は修猷館高校と、2戦目は西南学院高校と対戦しました。2試合とも吉村勝(84回生)を中心とした10名の若手選手の追い上げもむなしく敗北しましたが、宗像市大島から佐藤文一(84回生)・北九州から参加した新堀力(88回生)の後輩達との熱気溢れるプレーで、久しぶりにいい汗をかきました。

試合終了後の懇親会には、福岡バスケットボール部OB・OG会の湯下稔明会長(60回生)をはじめ、各校の選手、OB諸氏も参加しました。参加校の選手が年齢ごとに各テーブルにつき、試合振りや高校時代の話など共通した話題がはずみ、最後は恒例の校歌斉唱で大いに盛り上がりました。

平成23年は、わが福岡高校が8年に1回の幹事校(ホスト)になります。試合会場も母校で現役選手をサポートもお願いし

て、優勝を目指した大会にするために、バスケットボールOB諸氏の大会への参加応援を大いに期待しております。

長野 豊(68回生)

## 69回生辰巳会バスツアー

10月3日(日)、昨年の唐津ツアーに引き続き今年は、宗像神湊での「玄海の幸美味堪能ツアー」を行いました。

9時半に博多駅筑紫口に集合。途中、道の駅「むなかた」に立ち寄り、女性達は夕食のお買い物。男性達は女性の物持ちに尽くしていました。12時会場の国民宿舎「ひびき」に到着。新鮮な肴に箸をすすめながら歓談。温泉にも入り、ゲームあり景品ありの楽しいツアーでした。幹事の塚原君(4組)お疲れさまでした。

森松 茂



## 福商写真部OB会



昨年10月16日(土)に薬院のKKRホテル博多で写真部OB会を開催致しました。一昨年の7月に第一回のOB会を75回生の方々の御尽力により、30数年ぶりの感動の再会を果たしました。それから1年3カ月、72〜78回生18名及び当時顧問の安武先生をお迎えして「第2回福商写真部OB会お久しぶりね♪アラウンド50」と銘うち、開催の運びとなりました。6月から準備を始め、毎月1、2回、6、7名が集まり、当時の部活動の様子をドラマ調に再現したものをDVDに収めました。演劇部さんからの熱演や、74回生の石川先輩扮する西城秀樹に会場は大爆笑。写真部らしく事前に提出して頂いた写真をスクリーンに映し出し、自己紹介とともに発表するなど、内容も盛り沢山でした。安武先生も30年前と

お変わりなく、遠方からの参加者もあり、盛況の中、楽しい一時を過ごす事が出来ました。

幹事代表

吉村 俊一（76回生）

### 77回生情報処理科同窓会 八木雅夫先生の 定年退職を祝う会

昨年（21年）の春、2組担任の八木先生が博多工業高校で定年を迎えられました。それを機に、9月19日（日）KKRホテル

博多で77回生情報処理科同窓会を開催しました。我々も50歳を迎える節目の同窓会で、

遠方からの参加者もあり40名ほどが集いました。山崎君、山代さんの名コンビの司会で会場は盛り上がり、先生に内緒で取材した奥様（74回生）のインタビュー映像や先生の若かりし頃の写真をスクリーンに映し



出すと、「何でこの写真があるのや？」と大慌て。会場は大爆笑でした。1組担任の丸田先生からは長年連れ添われた奥様のお話をして頂き、胸がジーンとなりました。福商の懐かしいビデオに目を細められ、ジャンケンゲームでは何と、丸田先生が優勝！皆から集まった1000円玉を黄金の豚の貯金箱に入れて、ご満悦の様子でした。女子からお気に入りの男子へプレゼントを渡す「イクメン5」のコーナーも盛り上がり、高校時代に戻った楽しい時間は、夜遅くまで続きました。

情報処理科同窓会代表

小林 幸一

### 福商応援団 洋治朗会

平成22年10月10日（日）、天神テルラで23名が集まり、福商応援団「洋治朗会」を開催しました。藤井、安河内両先生の元気なお姿はもちろん、今回は宇土前校長も出席してくださいました。毎年恒例の還暦のお祝い、今回は寺崎、渡、白石、中村、竹崎氏5人の67回生の皆さんを、出席者全員でお祝いすることができました。いつも思うのですが、お祝いの記念の品を受け取られる時のまるで子供のような笑顔。見ている私達まで嬉しくなっています。今回の驚きは、今年の合同同窓大会実行委員長の塚本君、女性の桜谷さん、岡田さんの3人も参加してくれました。最初は緊張していたものの、ビール片手にそれぞれのテー

ブルを回って、同窓大会本番に向けて早速の初仕事？に頑張っていたようです。応援歌、校歌の大合唱、エールで宴を終了しましたが、二次会でも応援歌、部歌等あらゆる歌のオンパレードです。飲み足らなかった（笑）方々はそれぞれ三次会へと向かわれたようです。皆さん元気でなによりです。押忍！



原田 広海（81回生）

### 福翔バスケットボール部 OB・OG会開催

平成22年11月7日にセントラルホテルフクオカで、福翔バスケットボール部OB・OG会を開催しました。湯下会長（60回生）の挨拶に始まり、青木事務局長（66回生）より平成21年度事業報告、平成22年度事業計画の審議を行い、満場一致で採択されました。また、湯下会長より今後の福翔バス

ケットボール部OB・OG会の充実のため新役員として甲斐先輩（85回生）、石井君（90回生）の役員指名が行われ無事、採択されました。

富永大先輩（48回生）の乾杯の首頭で懇親会が始まり、同先輩のOB・OG会の開催意義について厳しい言葉による叱咤激励もありましたが、参加者全員が福翔バスケットボール部の発展を思い一致団結いたしました。終わりに木坂（86回生）石井君（90回生）の指揮の下、校歌、応援歌を全員で歌い、締めには池田先輩（78回生）による博多手一本で本総会は有意義に終了しました。

なお、今後のOB・OG会の運営を更に充実・強化してゆきますので、OB・OGの皆様の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

木坂 彰宏（86回生）



# 校歌・応援歌って



昨年「たまたま会」は、福商100周年記念とし、福商のルーツと博多の町とのかかわりをテーマに尋ね歩き、校歌の歴史の奥深さをフツフツと感じました。が、我等がいつも口ずさんでいる校歌はいつ出来たのかな…資料探しと称し福商会館に出向き何冊かの記念誌の中から内容がわかった。

明治33(西暦1900)年設立時には校歌はなく、明治40年入学の津田時之助(8回生)は「大いに期待して入学したが卒業した住吉小高等科には、立派な校歌があるのに福商には校歌がなくへんな学校だなあ」と思ったと記されている。福商潮流の中に明治41年8月発行の学友会会報第8号で太田徳次郎が「本校創立以来10周年にならんとす。卒業生出すこと55回、その間幾多の変遷あり」といへども、近來その設備完備校風いよいよ発揮せられ前途の光明眼前にあり。會員その勞を惜しむなかれ」といふ。

校歌募集を掲げ同年12月1日を締切日とした。その後選抜の事情は不明であるが決定した校歌の作詞は本校教諭 清水忠四郎、作曲は福岡師範(現福岡教育大学)松園郷美教諭(音楽担当)によるもので、当時の言論人で九州日報主筆兼社長でもあった福本南が監修した。作詞者の清水は明治40年4月から大正4年まで本校に在籍し歴史、地

理作文などを担当した。当時の在校生の印象を総合するとアダ名は「おごせ」で、まじめで小柄な人できれいな文章をよく書いていた。記憶力は抜群で教科書は全部暗記していたので、のちにアダ名は「蓄音機」(現在のレコードプレーヤー)に変わった。明治42年4月発行の学友会会報第9号で発表されている。学校の所在地が笠崎宮の近くにあったので校歌に海の見える荘厳な風景が描かれているのでしよう。

「潮湧き立つ玄海の 空に輝く商星を 仰ぎて正す羅針盤 指して行方は千里 いざや我が友歩を移せ 同校五百有余人」各節の終りの「同校五百有余人」は現在では「同舟千有余人と生徒数に応じて変更され」「いざや我が友歩を移せ」が後に「いざや帆を揚げ舵をこれ」になるなど曲節の一部も修正されたが、大部分は当時のまま現在まで多くの同窓生に親しまれている。例えば第三節の「十里の松原ただ緑の個所など現在の野多目の位置とは違つが、伝統を重んじて変更されていない。また応援歌の誕生は、大正3年(1914年)の秋季運動会でC組の柔道部主将 平賀衛太郎と中西秀二郎の二人が当時の運動会の応援歌がただワーワーと蛮声を張り上げるだけのものだったので「何か目新しい趣向を考へよう」と

と応援歌を作った。曲は流行歌から拝借當時は博多弁の応援歌の登場にみんなびっくりしていたという。C組応援歌は全校生徒の支持を得てしだいに全体のものとして「みんなざっせ」の愛称で歌い継がれ、福商応援歌になった。

運動会で歌うときのため、新入生は入学すると強制的に校庭に集められ、5年生から校歌と応援歌の練習をさせられた。時には不真面目な生徒に鉄拳が飛び、新入生の間では「5年生去来議」と恐れられた。卒業後の同窓生たちにとっては懐かしい思い出のひとつになっている。この応援歌は、昭和初期の対抗試合には必ず歌われていたが、昭和5年に松原校舎から堅粕校舎への移転の際のごたごたで練習が中止になったため、「時途切れた時期があった。しかし昭和11年に水上藤吉(19回生)がOB教師として本校に着任して復活させて以来、現在まで歌い継がれている。元歌は記録にないが正式に応援歌になった時点での歌詞は次の通りである。

世界の空気のうなづても 地球の半分がくすとも  
 どうして負けようかい 負けやせぬ  
 福商千余の健男兒 見てんざっせ 見てんざっせ  
 福商の選手 胸につけたるマークの光  
 どうして負けようかい 負けやせぬ  
 福商千余の健男兒  
 中村夕工子(61回生)

## 校歌

潮湧立つ玄海の 空に輝く商星を 仰ぎて正す羅針盤 指して行方は千里 いざや帆を揚げ舵を執れ 同舟千有余人

富国の任を身に負うて 勇めや進め南海を 狂瀾怒濤そも何ぞ 櫛風沐雨何かある いざや帆を揚げ舵を執れ 同舟千有余人

十里の松原只みどり 中に一点紅の 燃ゆらん望み描きつる 商旗に靡かぬ者やある いざや吾がとも歩を移せ 同行千有余人

堅忍不拔の心もて 操を松に比べつつ 正直一途にはげむべし 臥薪嘗胆何のその いざや吾がとも歩を移せ 同行千有余人

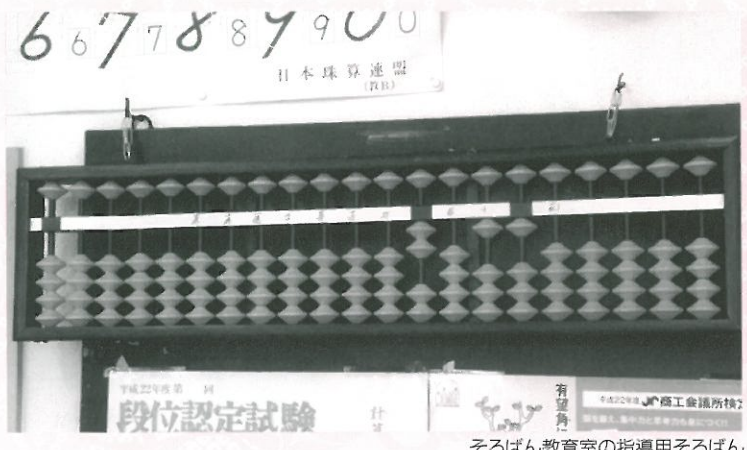
## 立意

潮が湧き立つ玄海(あまのうみ)の空に輝く商星(あまのぼし)を仰いで、羅針盤(あざな)により行く先を正し、千里の彼方まで目指して、さあ帆を揚げ舵をこり、漕ぎあせり、同舟(ともぞう)に集り合せ、千有余人の人々よ

富国(ふくに)の任(にん)を身に負うて(み身にまかして)、勇め(ゆうめ)や進め(すす)め南海(なんかい)を、狂瀾怒濤(きやうらんぬたう)そも何ぞ(なんぞ)櫛風沐雨(しふうぼくう)何かある(なにかある)いざや帆(いざやほ)を揚げ舵(か)を執れ(と)同舟(ともぞう)千有余人(ちゆうよりのうじん)

十里(じゆり)の松原(しょうげん)は只みどり(ただみどり)の中に一点紅(いちてんこう)の、燃ゆらん(もゆるらん)望み(のぞ)み描きつる(えが)きつる、商旗(しょうか)に靡かぬ(なびかぬ)者(もの)やある(ある)いざや吾(いざやわれ)がとも歩(ともあし)を移せ(を)り、同行(どうぎやう)千有余人(ちゆうよりのうじん)

堅忍不拔(けんじんふたつ)の心(こころ)もて、操(そう)を松(しょう)に比べ(くら)べつつ、正直(ちゆうじき)一途(いちと)にはげむべし(はげむべし)、臥薪嘗胆(ふしんじやうたん)何(なに)のその(その)いざや吾(いざやわれ)がとも歩(ともあし)を移せ(を)り、同行(どうぎやう)千有余人(ちゆうよりのうじん)



そろばん教育室の指導用そろばん

「二一天作之五」一見漢詩の一節かと思えるが、そろばんで計算する割算九九の一つであった。私がこれを知ったのは、福商に入学して数日後、荘厳な講堂で、新一年生の合同授業の時間であった。壇上には眼光鋭い眼差しで故帆足孝先生(あだ名はサーチライト、先輩はうまい名前をつけたなど感心した)だった。会場の四百数十名に対し「割算九九」を覚えよとの話だ。これは珠算の授業時間に必要なので掛算九九同様暗記しなさい。覚えていないとそろばんで割算の計算ができない、という。私は、福商に入学する前からそろばん塾に通っていたが塾では割算も掛算九九で行っていたので割算九九の存在が知らなかった。割算九九と聞きなれない言葉に一瞬とまどいを感じた。さすが福商は伝統の商業高校なので割算計算は割算九九で教えているのだ。

二一天作之五 何んや  
後輩遠くさ  
福商のルールば知っとうや!!  
青・山本 武 (30回生)

「二一天作之五」って何?

割算九九は下表のとおりですが、そろばんの割算の計算方法には、商除法と帰除法があり現在一般に行われているのは商除法で、掛算九九を使って商を見つけてます。帰除法は昔つかわれていた方法で、割算九九を覚え計算するものです。ここで簡単に割算の計算を割算九九で計算する方法を紹介しませう。

(例)  $12 \div 2 = 6$

そろばんに12をおく。わる数の二の段でわられる数12の先頭の数を見て、二一天作之五と一を5にして1をはらう。次にわられる数の残り2を見て、二進一と2をはらって10をいれる。すると答えが6となる。

※商の定位置は左の十の位に移る(1桁)

以上、「二一天作之五」の割算九九、青春時代を思い出されたでしょうか。そろばんを取り出し計算を行ってみると手の指先とそろばんの珠がうまく触れ合わず、福商、そろばん、割算九九(二一天作之五)切っても切れない繋がりがあるようです。これで二一天作之五の話を終わりにします。次回も、そろばんの話でお会い致しませう。

岡口 靖夫 (61回生)

割算九九

二の段	二天作五 (にいちてんさくのご) 二進一 (にしんいち)
三の段	三三十一 (さんいちさんじゅうのいち) 三六十二 (さんろくじゅうに) 三進一十 (さんしんじゅう)
四の段	四二一十 (しにいちじゅう) 四二作五 (しににせんごのご) 四三七二 (しさんななじゅうに) 四進一十 (ししんじゅう)
五の段	五加一 (ごいちかいち) 五加二 (ごにかに) 五加三 (ごさんかさん) 五加四 (ごしかし) 五進一十 (ごしんじゅう)
六の段	六二加四 (ろくいちかし) 六三十二 (ろくにさんじゅうに) 六三天作五 (ろくさんてんさくのご) 六四六十四 (ろくしよくじゅうのし) 六五八十二 (ろくごはちじゅうに) 六進一十 (ろくしんじゅう)
七の段	七二加三 (しちいちかさん) 七二加六 (しちにかろく) 七四十二 (しちさんじゅうに) 七四十五 (しちごじゅうご) 七五七十一 (しちごななじゅうのいち) 七六八十四 (しちろくはちじゅうのし) 七進一十 (しちしんじゅう)
八の段	八二加二 (はちいちかに) 八二加四 (はちにかし) 八三加六 (はちさんかろく) 八四天作五 (はちてんさくのご) 八五六十二 (はちごろくじゅうに) 八六七十四 (はちろくしちじゅうのし) 八七八十六 (はちしちはちじゅうのろく) 八進一十 (はっしんじゅう)
九の段	九一加一 (くいちかいち) 九一加二 (くにかに) 九二加三 (くにしんさん) 九四加四 (くししかし) 九五加五 (くごかご) 九六加六 (くろくかろく) 九七加七 (くしちかかち) 九八加八 (くはちかかち) 九進一十 (きゅうしんじゅう)

PLAYBACK

# 青春プレイバック

「伝説の福商音楽部～1」

福商音楽部 金丸 勇 (旧姓：小柳) (55 回生)

vol.18



福商学校にて

昭和29年春、福岡商業高等学校（以下略して福商）の校舎はまだ博多区の堅粕にあった。すでに散り始めた桜が風に舞う中、戦時中の空襲対策のために煤けたように迷彩されたといわれる校舎を前に、これまでと違った雰囲気、姿勢を正さずにはいられなかったことを思い出した。

## 福商音楽部 「ホットスターズ」の誕生

中学よりブラスバンド経験のある3人から「音楽部をつくらう」という声が上がったのは、高校生活にも慣れ始めた七月頃のことだった。我々の在校時には『音楽部』がなかったのだ。トランペットの今田君、トロンボーンの永田君。そして小さい頃からピアノを習っていた赤司君。私を含めた四人は、終戦前からの物置にあった2つの太鼓、音律の狂ったトランペットとトロンボーン、クラリネット、大講堂と音楽室に設置されている調律の狂ったままのピアノ2台を見て「これじゃチンドン屋もでんばい」と途方に暮れたものだった。気を取り直して「金が無い」の一点張りの学校と交渉するも、獲得した年間五万の予算だけでは楽器を揃えることなど到底無理なことになった。とにかく知り合いの質屋やパン店を頼ってかけずり回り、やっとのことでクラリネット、ドラムのスネア、バスドラムなどを手に入れることができたのだ。

次の課題は楽曲選びである。なにしろ楽



堅粕校舎は平成21年秋に建てかえるため、取り壊されています。

譜がない。楽譜のいらないアドリブで音合わせのできるジャズならほめるのではなにかと4人は話し合った。アメリカの黒人霊歌からの始まり、ラグタイム、デキシーランド、ニューオーリンズ、西部の音楽から音を合わせ、次第に抑揚とアドリブが大事なジャズへと移行していった。日曜日、中洲でバンド活動をしていたジャズマン達にパンと牛乳だけを謝礼に、基礎を叩き込んでもらった事も今となっては懐かしい。そしてその年の秋、九電記念体育館で催されたジャズフェスティバルに出演し、入場者の大拍手を聞いた時に涙が溢れ出したことは忘れがたい思い出のひとつとなった。丸坊主のデキシーバンド「ホットスターズ」はこうして誕生した。

この出演により、私達はさらに音楽活動を行い、他校のイベントにも積極的に参加

していくことになったのだ。しかし『ホットスターズ』の他校からの評価は高くなっていく一方で、自校の教師達からはことごとく「校風に合わない」と説教ばかりの日だったことも事実だ。相変わらずの楽器不足は頭の痛い問題で、私達が3年になった頃にも、なお入部希望の新人生を受け入れる態勢と楽器は揃っていなかった。新入生の歓迎会でのデモ演奏に惹かれたものが入部を希望する50人も列が部室の前で大きかったが、入部を認められたのは僅かに数人。ジャズという大人の領域へのあこがれと意識、同じ想いで集まって来た新入生の練習に渡す楽器が無い。まだそんな

はがゆい時代の福商音楽部だった。(続く)



# 111の笑顔

平成22年4月、3名の恩師と111人の旧友が集まった。福商58回生の、卒業50周年と古希を祝う会である。笑顔を手土産に、2022の暁は4月の誕生石ダイヤモンドのように輝いていた。それが私には半世紀を昇華したそれぞれの「熱・意気・力」の結晶に見えた。

私たちはなべ底不況の年に入学。初の人工衛星に驚き「神様・仏様・稲尾様」と熱狂した。そして所得倍増の掛け声にダツコちゃんも踊った岩戸景気の年に卒業した。以来、瞬く間に50年が過ぎた。それでも友の笑顔を見ると、熱かった学園生活がつい昨日のようによみがえる。

ある教師が講義した。古代ヨーロッパで国民は権力の犠牲になることが多かったと。その黒板の筆跡を消しながら担任教師も熱かった。英知によって人の道を説いた日本の先哲はすばしかった。赤壁ならぬ白墨の戦いを、私たちは拍手喝采で煽った。そして気がついたら「人」の生き方を教わっていた。

民法の時間に、「法人」にも人格があることを知った。その人柄を複式簿記でつくられた財務諸表によって把握できることも教わった。法人の存在意義とその価値を学んだのである。余談であるが、あえて「複式簿記」を取り上げたのは、未だ緒につい

ていない公会計士制度への苛立ちでもあ

る。私にとって「二つの人」はその後50年の人生に深く沁み込んだ。「人」は社会との接し方を、「法人」は生活を支えたからである。時代環境に沿い、活きた教育をして頂いた恩師にはあらためて感謝したい。

地中に眠るダイヤモンドは、それ自体では光沢ひとつ出せない石である。しかし他の力を借りて磨かれ、光をあてた瞬間、すばらしい輝きを放つ。111の笑顔も、社会で揉まれ、泣いて笑った50年の結晶にちがいない。ダイヤモンドと異なるのは、その輝きを自分で創り、自ら光り輝いていることである。その視線の先には未だに、壮心已まぬ明日を見つめているようでもあ

る。今回会えなかった友には是非声をかけてみたいと思う。

「次回は笑顔を見せんといかんばい」  
亡くなられた恩師、同窓生53名に合掌。

山根 秀樹 (58回生)



## 引頭先生22年度福岡市文化賞受賞祝賀会 & 第13回 勤ちゃん会の開催報告

12月4日(土) 第13回「勤ちゃん会」を開催しました。今回は、引頭勤治先生が 福岡市文化賞を受賞された事もあり、その祝賀会も兼ね、50名近くの教え子が集まり賑やかな会になりました。

先生の受賞は、我々教え子の誇りでもあり、大変嬉しく楽しい時間を共有できました。先生の「俺が、これで絵描きという事がわかったやー」の挨拶に始まり、最後は参加者からの先生へのプレゼント(旅行券)に、少しは先生も喜んで頂けたと思います。参加いただいた皆様、有難うございました。

森松 茂 (69回生)



旅行チケット目録の贈呈



今年の合同同窓会幹事86回生と先生

## 第8回「福商縦の糸の会」のご案内

- 日時 平成23年2月4日(金)
- 会場 八仙閣
- 住所 福岡市博多区博多駅東2丁目7-7
- 電話 092-(411)-4141
- 【第一部】講演会 午後6時~7時  
演題 「口銀は鳥籠」  
講師 大西 寿 (53回生)
- 【第二部】懇親会 午後7時~9時  
会費 6,000円(85回生まで)  
4,000円(86回生以降)
- 出席予定者 200名



第7回の会場風景

お問い合わせは、福商会事務局まで  
☎092-711-9890

どう しゅう



おう らい

高田 芳昭さん(65回生)



今回紹介させて  
頂く人は、昭和42  
年卒業、応援団4  
代目団長高田芳  
昭さんです。忘れ

もしません、就職で大阪へ出発の際、博多駅のホームで言葉をかけて頂きました。「俺も大小は関係なく、自分のやれる事で一番になる。おまえも頑張れ」と。そして「俺は博多の人間やけん、大阪弁には絶対にならん」とも。それから何年目でしたか電話がありました、その時の第一声です。「わしや、大阪の高田や、元気かいな」あんな誰? と感じるのです。すでにここで近い大阪弁です。よく聞いてみると「大阪弁やない」と商売できひんのだと。その後、もちまへの明るさと好感度が実を結び会社を設立。まさにここで一番になられた訳です。商売をやっていると、そうそう順風満帆とは行かないものです。一大決心のもと会社をたたみ、また荒波の中に船出をされるわけですが、ここからが並の人間とちがう所です。カネは天下の回りもの、そして人は限りなき財産。まさにこれまで築きあげてこられた、人と言ふ財産、これが後押しとなり今では(旬)上スティ通信設計事務所の取締役として活躍されておられます。なかなか出来るものではありません。

秋田 リツ子さん(66回生)



昨年9月に福岡市高齢者市民劇団の10周年記念で華々しくデビューを飾った彼女は、

まさに福商魂「熱・意気・力」そのものです。またこの方ほど母校福商を愛し気にかけておられる方も珍しいでしょう。仕事も波にのつた今、福商京阪神支部にも尽力して頂き、さらに福商会発展の為に力も尽きたいものです。私が尊敬する先輩として、今後ますますのご活躍を祈っています。ちなみに福商に残り歌い続けている逍遙歌は先輩の作詞作曲です。

寺崎 裕幸(67回生)

劇団最年少であり、劇団シルバーパンサーの成長株として将来リーダー役として期待されています。高校時代は軟式テニスを熱心にし過ぎたせいか、いまでも真顔は浅黒く精悍な顔立ちをしています。

この度、創立10周年記念講演で出演した「シンデレラ」のネズミ役は出番も多々後日、NHKテレビの「福岡にんげん交差点」で披露された練習風景でも、彼女の奮闘ぶりが長時間見られ、感激した次第です。劇団に入るまでの道のりは、決して平坦ではなく、高校卒業後に入社した東証一部上場

企業の殖産住宅相互(株)は、バブル崩壊の影響をまともに受け、退職を余儀なくされました。その後、いくつかの企業を経て、地元不動産会社の(株)昭和土地に勤務しながら、年老いた実母を献身的に看護していました。平成18年に母が亡くなり、今後の人生をどう生きていくかを模索していた時に、高齢者市民劇団の存在を知り、演劇には全くのシロウトでしたが、自分にはこれしかない! と入団を決めたそうです。人生の先輩方との稽古は、毎回、先輩方のパワーに圧倒されながらも教えられることが多く、適度の緊張感を得て、リフレッシュを果たす機会となっています。これからは、還暦を過ぎた多くの友達が入団されるのを期待して、稽古に励んでいる彼女を大いに注目してください。演劇に興味のある方は劇団代表の藤光さん(092-523-5949)に一報してください。

前崎 享一(66回生)

山下 郁子さん(75回生)



スキルス(進行性)胃がんを発病して、5年目を迎える彼女。昨年で5周年を迎えた

「やんごころ」で。平田会長が5年誌を作ろうと、すごい意気込み。私達会員は先輩から後輩まで、輝いている女性を捜すことになり、そしてやっと出会ったのが山下郁子さんでした。

彼女は高校卒業後、金融系企業に30年勤め、女性部門で会社ナンバリーを目指し、総合職にもチャレンジし、女性一人という難関を乗り越え、見事副支店長までやりあげたファイトの持ち主でした。

そんな彼女の病気の戦いは、「エチカの鏡」(テレビ西日本)で放映され、多くの病に悩み苦しんでいる方々に、どれだけ沢山の勇気と希望を与えたことでしょうか。一日一日与えられた命を大切に命ある限り生きていくことの素晴らしさを皆さんに赤裸々に教えて、現在もたくましくそして前向きに生活をされています。

これからの目標は60歳で、がんにも苦しむ方のため、NPO法人を立ちあげることだそうです。医者と科学をもつても解明できない彼女のもつ生命力の強さ。これからも私は見守り支えていきたいと思います。著書に「絶対絶命を生き抜く」スキルス胃がん余命三カ月から三年半」

木庭 しげ美(73回生)

藤本 浩太郎君(94回生)



平成22年9月から、JBLの「ダイヤモンド・ドルフィンズ」(三菱電機(株)が運営)の

アシスタントコーチに就任した藤本君は、福商時代バスケットボール部に所属し、九州大会で優勝した後、全国高校総体(鳥取大会)では初出場準優勝を飾った立役



者の一人です。また、国体（少年男子の部）では福岡県代表として、2年生から出場し、2年連続優勝を飾っています。

プレー振りは、高校時代から「エースキラー」と言われ、アグレッシブなディフェンスから相手のエースを抑えこみ、鋭い突破力と速攻でゴールをゲットし、外角のシュート力もある名フオワード選手でした。

福商を卒業後は、同期の篠原君（身長210センチ）と一緒に日本体育大学に進み、全日本学生選手権では1年からベンチ入りし、4年連続優勝して、日体大の黄金期の一時代を築きました。大学時代の活躍が認められ、2000年4月に日本バスケットボール界の最高峰である日本リーグ（現JBL）の三菱電機㈱に入社し、以来、仕事とバスケットボールの両輪で9年間、ガードプレーヤーとしてチームを支えてきました。JBLでは外国人選手や毎年入社してくる日本人一流選手とのレギュラー争いを勝ち抜き、9年間も現役選手として活躍してきた藤本君を、我々バスケット仲間は大いに自慢できる友人として誇らしく思っています。

これからは、外国人選手、大学生のスカウティングや所属の現役選手の若き相談役として、チーム力向上が大きな仕事と聞いています。福岡でのJBLの試合が少ないため、なかなか会う機会が少ないですが、全国各地で開催されている試合で彼を見かけたら声をかけて下さい。

山部 力（94回生）

## トピックス

### 第41回福商会ゴルフ大会



連日の猛暑も過ぎ、爽やかな秋空の9月28日、「第41回福商会ゴルフ大会」が筑紫ヶ丘ゴルフクラブで開かれました。41回生から88回生の97名が参加して日頃の腕を競い合い、また、同窓生との交流を深めながらの楽しい一日のプレイでした。競技は松組（55回生まで）、竹組（56回生から60回生）、梅組（61回生以降）に分かれて行われ、成績発表のパーティでは、順位発表に一喜一憂し会場は大いに盛り上がりました。結果、松組は難波正徳さ

ん（53回生）、竹組は天野辰慶さん（56回生）、梅組は城戸徳公さん（63回生）が見事優勝されました。上位入賞の方は次の通りです。

#### 松組

優勝	難波 正徳（53回生）
準優勝	鈴木 秀夫（50回生）
3位	河村 準二（54回生）
4位	田中 昌夫（52回生）
5位	谷口 章三（53回生）
6位	鹿見島史浪（53回生）
7位	西村 英俊（55回生）
8位	礪山 嘉郎（51回生）
9位	石田 忠義（55回生）
10位	瀧田喜代三（55回生）

#### 竹組

優勝	天野 辰慶（56回生）
準優勝	鳥井 正義（56回生）
3位	小森 正敏（58回生）
4位	廣田 昭俊（60回生）
5位	川崎 輝男（58回生）
6位	藤 洋之助（59回生）
7位	久保 初雄（56回生）
8位	井上 信男（60回生）
9位	宮地 隆之（59回生）
10位	松本 忠敬（56回生）

#### 梅組

優勝	城戸 徳公（63回生）
準優勝	北野 雅基（83回生）
3位	藤田 正勝（62回生）
4位	金子 浩文（61回生）
5位	佐藤 康典（61回生）
6位	大津 忠邦（62回生）
7位	井上 壽一（83回生）
8位	根上 晃（64回生）
9位	小野山浩太郎（86回生）
10位	無津呂繁憲（78回生）

### 古光書作展を訪ねて



平成22年10月19日から23日まで、第38回古光書作展が、NHK福岡放送センター2階ギャラリーで開催されました。

木庭しげ美先輩（73回生）は、柴田牧雨師匠の下で書道をいそしんでおられます。昔、紀元前を生きたられた方々を含める古典の書を忠実に模倣された臨書といわれる作品。漢字、かな流派の別なく集まって26点揃い、深く感動を呼び込んだ書でした。

木庭祥山作「常楽我浄」は、創作書となっております。臨書とよばれるものとは、違う趣のある一点でした。また、書の額自体もオリジナルで工夫がこらしてあり「自前」だそうです。

先輩は、この書展が終了しましたら、家に飾る場所も決めてあるそうです。光を放つ書となることでしょう。

大野 栄子（80回生）



# 喜寿を迎えて



## 師恩有益に支えられ(中)

山地 政美(50回生)

### 死して朽ちざるを求め

少年 古い易く 学成り難し  
一寸の光陰 軽んずべからず  
未だ覚めず 池塘春草の夢  
階前の梧葉 已に秋声

宗代末期、朱子学の祖朱熹しゆせいの偶成(詩や歌などが、ふとできあがる)である。この詩は、筆者と朱子学との最初の出合であった。今日この詩を思い起しては、光陰の何と早いことか。学問は、細々と続けたが、後年佐藤一斎(江戸時代後期の著名な儒学者)の言志録を読んでは、工藤先生のお姿と訓戒を偲ぶこと度々であった。

少にして学べば  
則ち壯にして為すことあり  
壯にして学べば  
則ち老いて衰えす  
老いて学べば  
則ち死して朽ちず

と、ある。今や老骨に鞭打ち「死して朽ちざるや否や」と事業を興して十八年となった。自問自戒、日々努力する毎日である。

### 友人の会社を譲り受け

創業の機会を与えてくれたのは、畏友柴田芳成兄(50回卒)である。兄は平成3年頃まで、元気に働いていたが、突然の病魔に倒れ、家業のクリーニング会社を廃業するという。「会社の名義が必要なら譲渡しよう」と私に意中を伝えてくれた。新聞社の定年後の構想を立てていた時でもあり、家内の承諾を得ず独断で譲り受けることにした。もともと、少年の頃から、山に囲まれて育ったので、定年後の山ごもりや畑作などに適した土地を、親戚先の者から譲り受けていた。その台地に計画したのが現在の「白糸キャンプ場および日本学研究所」である。柴田兄は、自宅近くの平尾の病院に入院中も、何時も事業のことを気にかけてくれていた。しかし、昨年11月に亡くなり残念でならない。

### 人と禽獣の差を知れ

学問や事業は、辛苦困難の内にくそ身につくもので、平々凡々の毎日では、人生の道理、技術の体得は達し得ない。ゆとり教育や教育施設、環境整備などが強く主張され、最近では、資金援助を政府がするまでになった。私どもの世代は、奨学金を頂くことは名譽であり、成人達成の暁には、国のため、地域の為に、何らかのご恩返しをすることを親も、学校も、教えていた。本人もその覚悟であった。現代の教育界が、果たしてこの「恩の思想」を教えているのであろうか。教育は、人間として禽獣と異なる基本を確立することである。教育界が鍛錬を忘れて久しい。結果は、社会的に悲惨な事件の多発となった。

### 大戦発生原因は何か

工藤先生が、厳しい指導をされたのは、病に侵された自己の命を思い、若々しい生徒の将来と日本の行く末を案じてのことであつたらう。先生は、大東亜戦争のことをよく話された。新聞社には友人の村上令記者が居る、「戦時中、空中戦で敵機からの銃撃にやられて片腕を亡くしたひとだ」と教えられたが、後日、村上記者の体験記を読んで、先生の意中を察することができた。私は、これらの教えから大東亜戦争発生の研究にも関心を寄せる事になった。(縮方竹虎の憲法改正論に収める)

### 国破れて山河あり

学生時代、全く異なった人柄の先生に指導をいただいた。一人は工藤久美先生、他は、国語漢文の塩柄盛光先生である。父と母のお役目の如く、塩柄先生は、国士館大学卒業後、農学校に赴任された方で、よく東西の書物を読まれ、何時も静かな先生であつた。先生から教わった杜甫の詩、春望「国破れて山河あり」を諄々と説かれる声が身にしみ、敗残の運命、定かならざる現実にてらして、深い悲しみを覚えた。

(続く)



左から南平七先生、工藤久美先生、塩柄盛光先生

# 初春



桜  
さくら会だより  
さくら会は、誰でも気軽に参加できる会。皆さんの参加を是非お待ちしております。

## 5周年のイベントに参加しての皆さんの感想

- とてもあったかい会だと感じ、楽しくあつという間に時間が過ぎてしまいました。
- プラスバンドの演奏や、シャソンの歌が聴けたりしてよかったが、会場に来ているいろんな方とも、もつと話しがたかった。
- 会場に男性の先輩方もいらつしゃっているのを見て、男性も参加していいんだーと思いました。楽しい会だったので今度、イベントに参加するとき、同級生男子も誘って来ます!!
- 番号組み合わせの自己紹介時間、とてもよい企画でした。初めての方や他の多くの人もお話したかった。
- 兄弟姉妹のような気さくさで話ができ、福商(翔)伝統の素晴らしさを感じます。

## さくら会メンバーみんなの声

準備にとりかかった時は、本当にイベントや冊子の作成が出来るのか、と不安でいっぱいだったけど、印刷が上がった冊子を見ると「素晴らしい記念誌になったなあー」という感激と、無事イベントを終えることができ、達成感とみんなで力を合わせて出来たのだ、という満足感で胸に込み上げてくるものがありました。



## 『さくら会5周年』おめでとうございます

平成23年全国合同同窓大会の当番幹事代表として参加させていただきました。林田統一郎先輩(70回生)のシャソンに感動し、プラスバンド部OB・OGによる素晴らしい演奏、楽しいお話と盛りだくさんな内容で、あつという間の2時間でした。

大勢の先輩方との交流は、私の今後の人生の「道標」となる有意義なものとなり、女性の時代、女性のパワー、と言われ始めて永いですが、まさに「福商会OGパワー」の凄さを思い知ると同時に先輩方が、本当に輝いていらつしゃることに感動しました。

今後とも『さくら会』のご活躍、ご発展をお祈りしております。

長沼 知子(86回生)  
(旧姓:浜田)



# 会費納入者

(平成22年8月から11月末までご入金の方)

## 長期納入者

56年度まで

47年度まで

45年度まで

41年度まで

40年度まで

39年度まで

37年度まで

36年度まで

35年度まで

34年度まで

33年度まで

32年度まで

29年度まで

28年度まで

27年度まで

④立山 初代

④吉井 次雄

④内野 義弘

④正木計太郎

④渡辺 得

④桑地 英幸

④白水 英喜

④西嶋 軍治

④西賀 操子

④保原 元治

④瓜生 元治

④山口 利彦

④田中 規子

④荒牧美紀子

④明石 徳雄

④吉野三子

④石川浩一朗

④田部篤二郎

④宮本 正純

④森 有子

④小倉 信雄

④森 健三

④山崎 輝喜

④下田ヒロ子

④角 加代子

④中村 良雄

④荒井 昌夫

④堀 正人

④吉井 次雄

④内野 義弘

④正木計太郎

④渡辺 得

④桑地 英幸

④白水 英喜

④西嶋 軍治

④西賀 操子

④保原 元治

④瓜生 元治

④山口 利彦

④田中 規子

④荒牧美紀子

④明石 徳雄

④吉野三子

④石川浩一朗

④田部篤二郎

④宮本 正純

④森 有子

④小倉 信雄

④森 健三

④山崎 輝喜

④下田ヒロ子

④角 加代子

④中村 良雄

④荒井 昌夫

④堀 正人

④本村 武典

④吉田 稔

④持山 恵亮

④渡辺 勝美

④池 崇一

④大園 門二

④野田 仁久

④松尾 敬造

④金瀬香寿子

④萩尾 善彦

④賀瀬 幸博

④藤木 幸博

④重藤 千鶴

④堺 泰之

④六見 保子

④江藤 信元

④宮田 勝則

④宮田 勝則

④小西 哲子

④辻 照代

④大石真理子

④柴田日出子

④飯田喜美子

④毛利 泉

④山本 芳子

④古瀬 勝美

④今村 慶子

④井出 愛子

④朝日 桂子

④藤崎 哲二

④入江 静子

④重松 泰子

④野依 節子

④柳ヶ水賢治

④本田喜久美

④川原 三泰

④大穂 絹代

④川原のぶ子

④渡 幹夫

④善生 喜利

④大園 綾子

④川原 広子

④大山安太郎

④江島 俊助

④篠原 郁夫

④熊野 太助

④世利 広美

④松本宗次郎

④魚住 誠剛

④西嶋 房義

④内山 武

④佐野 博

④山内 治

④芹野 哲治

④安西 靖介

④藤木 幸博

④吉村 昌子

④石井 利幸

④村上 雅洋

④原田 広海

④野田まゆみ

④平塚みゆき

④松本 有吉

④井上 清織

④禪院 裕人

④岡松 太郎

④久野 金作

④戸木田喜久

④藤 上次郎

④石村 善治

④斎藤 三郎

④中原陽三郎

④真鍋 和夫

④下田計之助

④上野 善堂

④小柳 雅暉

④新原 茂美

④山本 正明

④三嶋 清児

④池田 頼雄

④児嶋 正直

④山内 政明

④阿部 繁夫

④久我 輝和

④百田 元生

④入江 保子

④片山 和子

④中嶋 和子

④江川 妙子

④柳池 賢丸

④山下 速子

④荒木 弘光

④織田 雅昭

④山田 幸生

④松本 泰美

④瀧田 武彦

④川鍋 正行

④城島 英司

④有村 正夫

④穴見 健策

④平松 善夫

④大屋佳代子

④宮本 純子

④堺 博正

④金澤 公夫

④畑島 文博

④藤野 明美

④伊藤みき子

④浦田三枝子

④森 厚

④渡辺 俊介

④尾形由美子

④井上 桂子

④宮本 恵美

④本多 正典

④幾竹美和子

④阿部 君代

④小崎 英雄

④貞弘多嘉子

④野田範海恵

④木坂 彰宏

④水戸真由美

④肥山 香

④須藤 健夫

④服部 美里

④古賀 雅浩

④古賀 晶

④今村 西

④伊藤 俊治

④安部 雪江

④井上 裕子

④宮本 純子

④本多 正典

④幾竹美和子

④阿部 君代

④小崎 英雄

④貞弘多嘉子

④野田範海恵

④木坂 彰宏

④水戸真由美

④佐藤 康典

④高川 康典

④藤 義昭

④花田 勝彦

④平山 一夫

④平野 雅彦

④岩永 好子

④木下 悦二

④島原 光治

④兵頭 富子

④阿部 利美

④米田 守治

④吉田 芳子

④池田 喜男

④太田伊佐夫

④高丘 基康

④永田 利明

④竹島 保子

④和氣由利代

④尾上美恵子

④羽口眞智子

④佐々木恵美子

④田中 正臣

④山下 哲雄

④中村 康子

④嶋田 茂

④上村紀久夫

④植高眞知子

④松本 輝子

④月足 増巳

④青柳 利治

④小島 正江

④春日 忠義

④清武 謙治

④安武直次郎

④葉 倫昭

④泊 峰雄

④中島久美子

④高田 慶子

④木藤 康司

④木村日登志

④小田須美男

④西木 悦二

④添田 敏夫

④寺崎 裕幸

④松田喜恵子

④合野 霽光

④山下 紀久

④原 敬子

④吉武より子

④金井日出子

④百田 康男

④清塚 映

④栗栖 俊夫

④野村 悦子

④佐々木恵美子

④里永 純二

④折木 八重子

④青柳 利治

④小島 正江

④春日 忠義

④清武 謙治

④安武直次郎

④葉 倫昭

④泊 峰雄

④中島久美子

④高田 慶子

④木藤 康司

④木村日登志

④小田須美男

④西木 悦二

④添田 敏夫

④寺崎 裕幸

④松田喜恵子

④合野 霽光

④山下 紀久

④原 敬子

④吉武より子

④金井日出子

④百田 康男

④清塚 映

④栗栖 俊夫

④野村 悦子

④佐々木恵美子

- ① 岩本 律子
- ② 菊田 光昭
- ③ 宮本 俊和
- ④ 土平 洋子
- ⑤ 小田原史郎
- ⑥ 今崎 邦香
- ⑦ 芳賀 恵子
- ⑧ 吉武 節子
- ⑨ 増田 明美
- ⑩ 田中 房枝
- ⑪ 堀原 明子
- ⑫ 坪井喜代美
- ⑬ 大和口節子
- ⑭ 渋谷 克司
- ⑮ 高崎 悦子
- ⑯ 竹崎 博明
- ⑰ 古賀 敏子
- ⑱ 藤山 清次
- ⑲ 山本美津江
- ⑳ 塩川加代子
- ㉑ 高田 穂積
- ㉒ 牟田口信江
- ㉓ 安永裕美子
- ㉔ 塚原 恵二
- ㉕ 川上 友子
- ㉖ 紀ノ岡幸子
- ㉗ 柳瀬多美子
- ㉘ 柿本 京子
- ㉙ 浦牟田しづか
- ㉚ 辻 都
- ㉛ 下野 京子
- ㉜ 阿比留恭之
- ㉝ 太田励治郎
- ㉞ 折居 哲之
- ㉟ 河野 司
- ㊱ 松本 博勝
- ㊲ 実測 重樹
- ㊳ 八尋 良郎
- ㊴ 吉田 元春
- ㊵ 宮野 進一
- ㊶ 徳田 稔
- ㊷ 伊東 輝世
- ㊸ 浜 京子
- ㊹ 中西 照代
- ㊺ 岩下 恭子
- ㊻ 西川 啓子
- ㊼ 加納 厚子
- ㊽ 池町 真澄
- ㊾ 日山喜代子
- ㊿ 坂本 和江
- ㉑ 北方美智子
- ㉒ 松岡 京子
- ㉓ 島村 京子
- ㉔ 黒田美智代
- ㉕ 木村 陽子
- ㉖ 小路久美子
- ㉗ 平片 富枝
- ㉘ 三嶋 玲子
- ㉙ 栗原 万美
- ㉚ 城戸利恵子
- ㉛ 前崎美登里
- ㉜ 江口まり子
- ㉝ 武田 潤子
- ㉞ 原田多枝子
- ㉟ 西原美喜枝
- ㊱ 柴田 隆
- ㊲ 柴田 満
- ㊳ 武富 義清
- ㊴ 月見 佳二
- ㊵ 常岡 知美
- ㊶ 土井 信二
- ㊷ 難波 清治
- ㊸ 橋本 一美
- ㊹ 樋口 岩雄
- ㊺ 樋口 正
- ㊻ 浅野恵美子
- ㊼ 中富 恵子
- ㊽ 末松美代子
- ㊾ 山口加代子
- ㊿ 中牟田富美子
- ㉑ 二俣恵美子
- ㉒ 古村千代子
- ㉓ 下城 英美
- ㉔ 松嶋久美子
- ㉕ 松村 洋子
- ㉖ 松田与志子
- ㉗ 中山 勝恵
- ㉘ 難波ひとみ
- ㉙ 山川 玲子
- ㉚ 竹本 玲子
- ㉛ 吉崎 洋子
- ㉜ 稲富美津代
- ㉝ 岡本伊都子
- ㉞ 豊永 信代
- ㉟ 堀池 陽子
- ㊱ 中島 恭子
- ㊲ 岩下 啓子
- ㊳ 西川 啓子
- ㊴ 加納 厚子
- ㊽ 宮本 信子
- ㊾ 野口 嘉孝
- ㊿ 宗村 龍明
- ㉑ 立花美千子
- ㉒ 田中 玲子
- ㉓ 虎谷 恵子
- ㉔ 古賀 正和
- ㉕ 古賀 玲子
- ㉖ 三嶋 玲子
- ㉗ 栗原 万美
- ㉘ 城戸利恵子
- ㉙ 日野 孝治
- ㉚ 川原恵美子
- ㉛ 城野加代子
- ㉜ 重松 玲子
- ㉝ 栗原 功充
- ㉞ 原 智恵子
- ㉟ 川上 忠幸
- ㊱ 吉浦 由美
- ㊲ 藤野 晴大
- ㊳ 峯 さゆり
- ㊴ 古村 勝
- ㊵ 妹川みゆき
- ㊶ 桑野 靖子
- ㊷ 古本 昌司
- ㊸ 古本 昌司
- ㊹ 銭本 治
- ㊺ 安松 朱美
- ㊻ 林田 直子
- ㊼ 池田 優佳
- ㉑ 佐々木忠雄
- ㉒ 小金丸淳次
- ㉓ 植崎 展道
- ㉔ 淵上 信弥
- ㉕ 白水 宗一
- ㉖ 田口 信一
- ㉗ 齋藤 定
- ㉘ 宮本良一郎
- ㉙ 井上 祐司
- ㉚ 中村 慶介
- ㉛ 坂井 新策
- ㉜ 田村 幸光
- ㉝ 古屋 治男
- ㉞ 牧野 一男
- ㉟ 真城 亮一
- ㊱ 松田 伊作
- ㊲ 宮本徹次郎
- ㉑ 石井 嘉述
- ㉒ 木村 健吾
- ㉓ 長富 幸一
- ㉔ 半田 勲
- ㉕ 佐藤太兵衛
- ㉖ 篠田 博子(杉山)
- ㉗ 大川 淳治
- ㉘ 坂本 晃一
- ㉙ 柴田 芳成
- ㉚ 岸本 照房
- ㉛ 白木 勉
- ㉜ 高嶋 幾雄
- ㉝ 林 博海
- ㉞ 御幡 昌弘
- ㉟ 石川 一夫
- ㊱ 瀬尾 淳二
- ㊲ 今林 輝身
- ㉑ 石井 昭明
- ㉒ 青山 矩子(石川)
- ㉓ 太居 文雄
- ㉔ 嶋田 春枝(今林)
- ㉕ 世利 峰子(森)
- ㉖ 安川 静夫
- ㉗ 北島 敬生
- ㉘ 津田 久恵(大窪)
- ㉙ 浜まゆみ(松野)
- ㉚ 麻生 博司
- ㉛ 岩田 真紀(遠藤)
- ㉜ 門田 博文
- ㉝ 高橋 晴美(永井)
- ㉞ 草橋 孝司
- ㉟ 内田 佐和子
- ㊱ 瀬利 正明
- ㉑ 村山 昭明
- ㉒ 青山 矩子(石川)
- ㉓ 太居 文雄
- ㉔ 嶋田 春枝(今林)
- ㉕ 世利 峰子(森)
- ㉖ 安川 静夫
- ㉗ 北島 敬生
- ㉘ 津田 久恵(大窪)
- ㉙ 浜まゆみ(松野)
- ㉚ 麻生 博司
- ㉛ 岩田 真紀(遠藤)
- ㉜ 門田 博文
- ㉝ 高橋 晴美(永井)
- ㉞ 草橋 孝司
- ㉟ 内田 佐和子
- ㊱ 瀬利 正明

卒業回生別会費納入者数一覧表

卒業回生	22年度	前年度	卒業回生	22年度	前年度
21~30	10	10	72	16	13
31	10	15	73	14	12
32	9	14	74	11	11
33	9	11	75	23	17
34	7	8	76	8	9
35	17	23	77	18	13
36	8	10	78	12	12
37	16	18	79	16	16
38	16	20	80	14	16
39	30	32	81	14	14
40	34	39	82	17	18
41	35	47	83	11	11
42	41	44	84	14	26
43	35	35	85	19	10
44~45	48	64	86	11	10
46~47	52	54	87	6	6
48	28	30	88	5	6
49	23	24	89	8	4
50	71	66	90	1	1
51	81	84	91	1	1
52	95	96	92	1	1
53	52	62	93	0	1
54	78	80	94	3	3
55	83	89	95	2	3
56	106	107	96	2	2
57	97	86	97	1	2
58	93	97	98	2	1
59	93	94	99	1	2
60	91	93	100	1	2
61	70	65	101	2	3
62	61	60	102	2	3
63	102	107	103	4	6
64	58	60	104	5	9
65	32	32	105	11	10
66	52	55	106	5	12
67	113	33	107	14	302
68	39	39	108	300	
69	49	42	別1~別15	22	21
70	86	27	定1~定43	22	21
71	15	12	合計	2,684	2,614

平成22年11月30日現在

- ㉑ 立花美千子
- ㉒ 田中 玲子
- ㉓ 虎谷 恵子
- ㉔ 古賀 正和
- ㉕ 古賀 玲子
- ㉖ 三嶋 玲子
- ㉗ 栗原 万美
- ㉘ 城戸利恵子
- ㉙ 日野 孝治
- ㉚ 川原恵美子
- ㉛ 城野加代子
- ㉜ 重松 玲子
- ㉝ 栗原 功充
- ㉞ 原 智恵子
- ㉟ 川上 忠幸
- ㊱ 吉浦 由美
- ㊲ 藤野 晴大
- ㊳ 峯 さゆり
- ㊴ 古村 勝
- ㊵ 妹川みゆき
- ㊶ 桑野 靖子
- ㊷ 古本 昌司
- ㊸ 古本 昌司
- ㊹ 銭本 治
- ㊺ 安松 朱美
- ㊻ 林田 直子
- ㊼ 池田 優佳
- ㉑ 佐々木忠雄
- ㉒ 小金丸淳次
- ㉓ 植崎 展道
- ㉔ 淵上 信弥
- ㉕ 白水 宗一
- ㉖ 田口 信一
- ㉗ 齋藤 定
- ㉘ 宮本良一郎
- ㉙ 井上 祐司
- ㉚ 中村 慶介
- ㉛ 坂井 新策
- ㉜ 田村 幸光
- ㉝ 古屋 治男
- ㉞ 牧野 一男
- ㉟ 真城 亮一
- ㊱ 松田 伊作
- ㊲ 宮本徹次郎
- ㉑ 石井 嘉述
- ㉒ 木村 健吾
- ㉓ 長富 幸一
- ㉔ 半田 勲
- ㉕ 佐藤太兵衛
- ㉖ 篠田 博子(杉山)
- ㉗ 大川 淳治
- ㉘ 坂本 晃一
- ㉙ 柴田 芳成
- ㉚ 岸本 照房
- ㉛ 白木 勉
- ㉜ 高嶋 幾雄
- ㉝ 林 博海
- ㉞ 御幡 昌弘
- ㉟ 石川 一夫
- ㊱ 瀬尾 淳二
- ㊲ 今林 輝身
- ㉑ 石井 昭明
- ㉒ 青山 矩子(石川)
- ㉓ 太居 文雄
- ㉔ 嶋田 春枝(今林)
- ㉕ 世利 峰子(森)
- ㉖ 安川 静夫
- ㉗ 北島 敬生
- ㉘ 津田 久恵(大窪)
- ㉙ 浜まゆみ(松野)
- ㉚ 麻生 博司
- ㉛ 岩田 真紀(遠藤)
- ㉜ 門田 博文
- ㉝ 高橋 晴美(永井)
- ㉞ 草橋 孝司
- ㉟ 内田 佐和子
- ㊱ 瀬利 正明

物語者名 (前号より12月9日まで)

- ㉑ 佐々木忠雄
- ㉒ 小金丸淳次
- ㉓ 植崎 展道
- ㉔ 淵上 信弥
- ㉕ 白水 宗一
- ㉖ 田口 信一
- ㉗ 齋藤 定
- ㉘ 宮本良一郎
- ㉙ 井上 祐司
- ㉚ 中村 慶介
- ㉛ 坂井 新策
- ㉜ 田村 幸光
- ㉝ 古屋 治男
- ㉞ 牧野 一男
- ㉟ 真城 亮一
- ㊱ 松田 伊作
- ㊲ 宮本徹次郎
- ㉑ 石井 嘉述
- ㉒ 木村 健吾
- ㉓ 長富 幸一
- ㉔ 半田 勲
- ㉕ 佐藤太兵衛
- ㉖ 篠田 博子(杉山)
- ㉗ 大川 淳治
- ㉘ 坂本 晃一
- ㉙ 柴田 芳成
- ㉚ 岸本 照房
- ㉛ 白木 勉
- ㉜ 高嶋 幾雄
- ㉝ 林 博海
- ㉞ 御幡 昌弘
- ㉟ 石川 一夫
- ㊱ 瀬尾 淳二
- ㊲ 今林 輝身
- ㉑ 石井 昭明
- ㉒ 青山 矩子(石川)
- ㉓ 太居 文雄
- ㉔ 嶋田 春枝(今林)
- ㉕ 世利 峰子(森)
- ㉖ 安川 静夫
- ㉗ 北島 敬生
- ㉘ 津田 久恵(大窪)
- ㉙ 浜まゆみ(松野)
- ㉚ 麻生 博司
- ㉛ 岩田 真紀(遠藤)
- ㉜ 門田 博文
- ㉝ 高橋 晴美(永井)
- ㉞ 草橋 孝司
- ㉟ 内田 佐和子
- ㊱ 瀬利 正明

会員皆様のご協力に対し深く感謝し、厚くお礼申し上げます。  
 会費は母校への奨学金給付、体育部奨励金の寄付等有益に運用させていただいております。  
 これから年会費の納入についてご協力賜りますようお願い申し上げます。  
 なお会費納入のお願いを会報発行時に毎回お届けしておりますが、  
 既に納入済みの方はご容赦下さい。



# GENKI COMPANY

元氣印の企業紹介! vol.19

コスモティエス株式会社

**出会いを大切にし、感謝の気持ちを忘れない企業であり続けたい!**

代表取締役 古賀 淳一さん (74回生)



## 福商時代の思い出

福商時代はバスケットボール部に所属。キャプテンとして中部地区ベスト4の立役者として活躍しました。

## 福商卒業からの進路

九州産業大学商学部卒業後、㈱三鷹入社。体育施設部勤務。昭和63年(株)アスカ入社。平成4年4月コスモ技研創業。現在に至る。

## 会社を始めるきっかけ

自分で働き方を決められる生き方をしようと思ひ、自分のリスクでやるしかないと考えたのがきっかけです。今考えてみると、なぜそう感じたのか不思議なのですが、その時はそう感じ企業を決意したのでしょう。



社屋

## ボランティア活動

平成21年6月から当社の一室を開放し、小・中学生の放課後の居場所として「わくわくの郷舎」を開設しました。代表者は廣畑伸曉氏(元福岡県中学校校長)。活動内容は、「勉強をしよう、本を読もう、友達と遊ぼう、友達と語ろう」。



竹ふうりんをつくる

## 将来の夢

創業時、お金も信用も実績もない時に、いろいろな人と出会えた事、一緒に働く仲間を信じ一致団結した事を忘れず、これからも出会いを大切にし、感謝の気持ちを忘れない企業であり続けたい。また、社員が夢を抱き、いきいきと働ける企業を目指したいと思ひます。

## コスモティエス株式会社

代表取締役 古賀 淳一(74回生)  
取締役 古賀千恵子(74回生)  
工事課長 岩崎 隆弘(80回生)



糟屋郡志免町田富4丁目9番14号  
TEL 092(936)2788

## 事業内容

- 土木工事業 (グラウンド工事)
- とび・土工・コンクリート事業 (防球ネット・フェンス工事)
- 鋼構造物工事業
- 舗装工事業 (人工芝工事)
- 機械器具設置工事業 (水車・遊具)
- 造園工事業



カンボジアからソック・ウオッヘアさんが訪問。クメール語を学ぶ子どもたち。

 <p>会長 <b>高木 不二男</b> (60回生) Fuji Takaki</p> <p>株式会社 ダリア 〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4-3-25 TEL 092-472-3035 FAX 092-472-2347 E-mail/f-takaki@dalia.co.jp http://www.dalia.co.jp</p>	<p>「うまい!」うれしいお礼のことば きつと印象に残ります……………」</p> <p><b>味のめんたい 福太郎</b></p> <p>代表取締役社長 山口 毅 (52回生)</p> <p>■配送センター・工場 〒815-0001 福岡市南区五十川1-1-1 電話(092)475-7777</p>	<p>傑作まんじゅう </p> <p><b>博多通りもん</b></p> <p>株式会社 <b>明月堂</b></p> <p>秋丸 武士 (58回生)</p> <p>〒812-0892 福岡市博多区東那珂2-11-23 TEL(092)411-7777 FAX(092)411-7878</p>
--	--	--



**赤坂興産株式会社**

代表取締役 湯下 稔明 (60回生)

〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目12番12号  
TEL (092) 712-4213(代) FAX (092) 712-4214



**株式会社 堀江本店**

代表取締役社長 堀江 徹 (75回生)

〒816-0063 福岡市博多区金の隈3丁目14-41  
TEL (092) 503-0121 (代)  
FAX (092) 504-1219



Ad Agency  
株式会社 **春潮社**  
Shun cho sha  
since 1933

代表取締役 古川 淳二 (63回生)

□本 社 〒812-0044 福岡市博多区千代4-29-12  
☎092-641-1031 ㊟092-631-2690  
営業所/営業部 久留米

交通広告/電柱広告/開院 開業ツール/マス媒体広告/SP広告/屋外広告  
☑ www.shunchosha.co.jp

線香・ローソク・お香・広告マッチ

株式会社 **中島晴薫堂**

代表取締役 会長 中島 勝敏 (55回生)

〒812-0044  
福岡市博多区千代4-8-19 TEL092-651-0441 FAX092-651-0449  
〒854-0055  
長崎営業所 諫早市栗門町288番地305号 TEL・FAX0957-21-0675



〒7-70にもいろいろ  
あります…

**福岡テープ株式会社**

工業用テープ  
包装テープ  
梱包機・梱包資材  
カッティングテープ  
カット絵文字制作

取締役 糸永 清二 (55回生)  
福岡市博多区那珂3丁目2-4  
TEL 092-411-3929(代)

創業123周年

**imai PRINTING**

代表取締役 今井 勝彦 (57回生)

**今井印刷株式会社**

〒812-0041 福岡市博多区吉塚7丁目3番70号  
TEL 092-624-8292 FAX 092-624-8293

躍進する 総合建設業・木材業  
粕屋グループ 不動産業・アバマン粕屋店

一級建築士事務所

**粕屋殖産株式会社**

代表取締役 会長 篠原 隆義 (54回生)

本 社 糟屋郡粕屋町大字仲原2525  
電話(代表)092-621-1331番

有限会社

**エステート平野**

代表取締役 平野 俊一 (46回生)

〒812-0007 福岡市博多区東比恵2丁目11番8号  
TEL (092) 431-5616

**紙与産業株式会社**  
**紙与不動産株式会社**

代表取締役 渡邊 與三郎 (39回生)

福岡市中央区天神1丁目12の14号  
電話 (092) 721-4531番

玄海の磯の香りをそのまま直送

 **魚村**

福岡市中央区大名1丁目4-24 ☎(092)781-7388  
代表取締役 日野 孝治 (77回生)  
http://www.gyoson.jp/



本造りのプロフェッショナル

**正光印刷株式会社**

営業所/福岡市中央区赤坂1丁目3番7号  
PHONE:(092)741-3266  
携 帯:(090)8761-1725  
藤村 みつ (53回生)



**株式会社 エヌ・エス・エックス**

コンピュータネットワークシステム構築  
ホームページ企画制作 コンサルティング  
ホスティングサービス・レンタルサービス  
インターネット WEBカメラ

代表取締役 跡部 宗教 (79回生)  
ATOBE MUNENORI

福岡市博多区博多駅前3丁目29-21 貝真ビル2F  
Total Support Of Computing TEL:092-452-7055 FAX:092-452-7071

**記事投稿のお願い**

会員皆様からの記事投稿をお願いしております。随想、俳句、写真、趣味や同舟  
往來の紹介など何でも結構です。ご連絡をお待ちしております。

〒810-0041 福岡市中央区大名1丁目12-57 **社団法人 福商会**

**TEL:092-711-9890 FAX:092-711-9266**

順不同 広告掲載を募集しています。広告掲載料は1万円です。お問い合わせは福商会事務局まで。

# 会館だより

## 平成22年度 地域文化功労者 文部科学大臣表彰

大山安太郎さん(30回生)



俳人で福商会相談役の大山安太郎さん(30回生)が平成22年度地域文化功労者文部科学大臣表彰を受賞されました。



各地域において芸術文化の振興、文化財の保護に貢献された功績をたたえ文部科学大臣が表彰するもので、本年度は福岡県内で3名【芸術文化部門】が受賞されました。

大山安太郎さんは福岡県現代俳句協会会長を永年務められ、平成12年には福岡県教育文化賞(俳句)を受賞されています。

## 平成22年度 福岡市文化賞・市民文化活動 功労賞受賞

引頭勘治さん



福商高校で美術教諭を35年有るも勤められ、且つ福商会全国合同同窓大会のプログラム誌の表紙とチケット表紙に永年デザイン(切り絵)を手がけていただいている、画家引頭勘治さんがこの度、市文化賞・市民文化活動功労賞を受賞されました。

1975年ごろから風刺性のあるテーマでアニメやサफलチャーに通じる「ペーパーマン」とよぶ作品群を展開。各種グループ展にも積極的に参加し、福岡の美術界の中心で活躍。福岡市の文化の向上発展に貢献した功績が顕著として受賞されました。

平成22年12月24日に逝去されました。享年73歳。  
ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 危険業務従事者叙勲受章

小川澄人さん(58回生)

(元筑紫野太宰府消防組合消防本部消防長)

平成22年秋の「危険業務従事者叙勲」に際し、小川澄人さん(58回生)が瑞宝双光章を受章されました。昨年11月12日に勲記勲章の伝達を受けられ、夫妻で皇居に参内し、豊明殿で天皇陛下の拝謁を受けられました。永年、消防組合や消防本部の業務に従事され、職務に邁進された功績を讃えられて今回の受章にいたったものです。

## 広報委員会から

あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひ申し上げます。

会員の皆様からの寄稿(随想・俳句・写真等)をお待ちしております。

広報委員一同



## 編集後記



平成22年10月1日付けで福商会事務長に就任しました66回生の青木 進です。

平成21年12月から福商会で母校創立110周年の記念誌編纂を務めておりましたが、広報委員については、事務長の引継ぎ後日浅く、原稿締切り時限もあって悪戦苦闘しました。西嶋、宮田両広報委員他の力添えをいただき、何とか、新年号の発刊にこぎつけました。

高校時代から現在までバスケットボールに関して係わりを続けていますので、これからも先輩、後輩の協力を得る機会が増えると思います。伝統ある福商会の事務長として精一杯務めて参りますので、会員の皆様方のご支援、ご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

## 奨学育英基金へ寄付

### ●谷口寅雄氏のご遺族から

平成22年11月9日、谷口寅雄氏(31回生・故人)のご遺族から育英資金としてご寄付をいただきました。心あたたまるご厚情に深く感謝申し上げます。

### ●38回生同窓会から



昨年、筑後支部会が開かれたとき、38回生の荒井昌夫さんから「我々の学年同窓会を毎年開催していましたが、同級生も少なくなり同窓会を開くことが難しくなりました。皆と話し合って学年で保有していたお金を母校の奨学金に役立てて欲しい」と、多額な寄付をいただきました。38回生皆様の母校に対する熱い思いとご厚情に心から感謝申し上げます。

### ●昨年当番幹事剰余金持参



9月17日、全国合同同窓大会の会計を務めた松坂谷古さん(85回生)が来館され「同窓大会の決算書ができました。剰余金が出ましたので奨学金に役立ててください」と剰余金を持参されました。85回生皆様のこの1年間の活動に感謝申し上げますとともに、ご芳情に心からお礼申し上げます。

記事に関するお問い合わせは  
福商会事務局へ

TEL.092-711-9890  
FAX.092-711-9266